

一般用ミクロデータ 就業構造基本調査版の概要

～ 系統抽出による擬似標本データ～

統計センター	伊原	一
総務省統計局	田中	雅行
統計センター	北林	三就

信頼に応じて作る統計表

平成30年6月3日
日本人口学会第70回大会

<はじめに>

統計センターでは、総務省統計局との共同研究として一般の人が誰でも利用できる一般用ミクロデータの研究開発を行っている。平成29年度は就業構造基本調査に基づく一般用ミクロデータの作成を行った。

本データの作成方法としては、就業構造基本調査の公表結果表を母集団フレームの基データとして用い、系統抽出と同様の方法により抽出率500分の1の擬似標本を合成している。

<はじめに>

このため、本データには母集団の分布特性が反映されており、母集団フレームからの系統抽出による擬似的な無作為標本とみなすことで、収録項目の範囲内で人口分析や統計演習等に利用することが可能である。

本データには公表結果表をベンチマーク人口（都道府県、男女、年齢、就業状態別の人口）として比推定補正を行った復元ウェイトを収録しており、この復元ウェイトを用いて集計を行うことで集計結果の標本誤差を抑える工夫をしている。

<はじめに>

利用にあたっては、擬似標本の標本規模が実際の調査の5分の1程度で標本誤差が大きくなっており、集計結果は公表結果表と完全には一致しないこと、また、丸め誤差を含む結果表から作成しているため、標本誤差に加えて丸め誤差が含まれていることに留意する必要がある。

なお、本データは公表結果表を基に作成しているため収録項目が限られており、収録されていない項目について分析が必要な場合は、公表結果表または統計センターが提供を行っているオーダーメイド集計や匿名データなどを利用されたい。

データ一覧

調査年	基データ（就業構造基本調査）	ファイル名	レコード数
平成24年	都道府県編 第1表、第10表	PUMESS2012.csv	221,630
平成19年	都道府県編 第1表、第7表	PUMESS2007.csv	220,603
平成14年	都道府県編 第1表、第7表	PUMESS2002.csv	218,349
平成9年	地域編 第6表、第24表	PUMESS1997.csv	213,306
平成4年	地域編 第7表、第21表	PUMESS1992.csv	205,876
平成4年～平成24年の一括データ		PUMESS9212.csv	1,079,764

注) PUMESSは開発用のコードネームであるため、実際の提供用ファイルは他の名称に変更となる可能性がある。

収録項目一覧

収録項目（項目名）		2012	2007	2002	1997	1992
共通項目	データ名称	DataSource				
	調査年	Year				
	都道府県	Prefecture				
	政令指定市	City				
	市部	Urban				×
	性別	Gender				
	年齢	Age				
	就業状態	WorkStatus				
有業者	雇用者	WorkEmploy				
	正規就業者	WorkRegular			×	×
	産業	WorkIndustry				
無業者	就業希望	NoworkWish				
	求職	NoworkApply				
	非就業者年齢	NoworkAge				
	配偶関係	NoworkMarriage			×	
符号ラベル（テキスト） T_Prefecture、T_City、T_Urban、T_Gender、T_Age、T_WorkStatus、 T_WorkEmploy、T_WorkRegular、T_WorkIndustry、 T_NoworkWish、T_NoworkApply、T_NoworkAge、T_NoworkMarriage						
復元ウェイト(Weight)						

注) 収録項目については、調査年によって項目がない年次や、基となる公表結果表においてクロス集計されていないため収録されていない年次がある。

PUMESS2012.CSV

* この一般用ミクロデータ就業構造基本調査版（試作データ）は、下記統計調査の結果表を基に合成しています。

就業構造基本調査（総務省統計局）

* データ作成の際に、政府統計総合窓口（e-Stat）のAPI機能を使用していますが、データ内容は国によって保証されたものではありません。

* ご意見、ご感想等を統計センター統計技術研究課（1-kenkyu2@nstac.go.jp）宛にお知らせください。

* 評価用のため、公表及び再配布はご遠慮ください。

DataSource	Year	Prefecture	City	Urban	Gender	Age	WorkStatus	WorkEmploy	WorkRegular	WorkIndustry	NoworkWish	NoworkApply	NoworkAge	NoworkMarriage	T_Prefecture	T_City	T_Urban	T_Ge
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	360					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	361					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	367					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	369					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	369					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	370					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	370					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	200	001	007	044	374					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	360					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	360					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	361					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	363					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	363					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	363					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	369					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	369					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	370					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	371					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	372					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	372					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	372					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	374					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	374					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	374					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	375					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	011	376					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	361					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	363					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	364					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	364					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	365					北海道	札幌市	市部	男
PUM_ESS	2012	01	100	001	001	201	001	007	044	369					北海道	札幌市	市部	男

< 作成概要 >

公表結果表から 1 セルを 1 レコードに変換した結果表セルデータを作成する。内訳に表章されていない項目については、総数と内訳の計との差から不足を補う。差が負値になる場合は値をゼロとする。

結果表セルデータを母集団情報とし、系統抽出と同様の方法により標本を等間隔に抽出して擬似標本データを作成する。

擬似標本データの抽出ウェイトについて、基の公表結果表をベンチマーク人口として比推定補正を行う。

< 作成概要 >

この方法で作成することにより、集計した結果が公表結果表と同様の分布特性を示す擬似標本データが得られる。

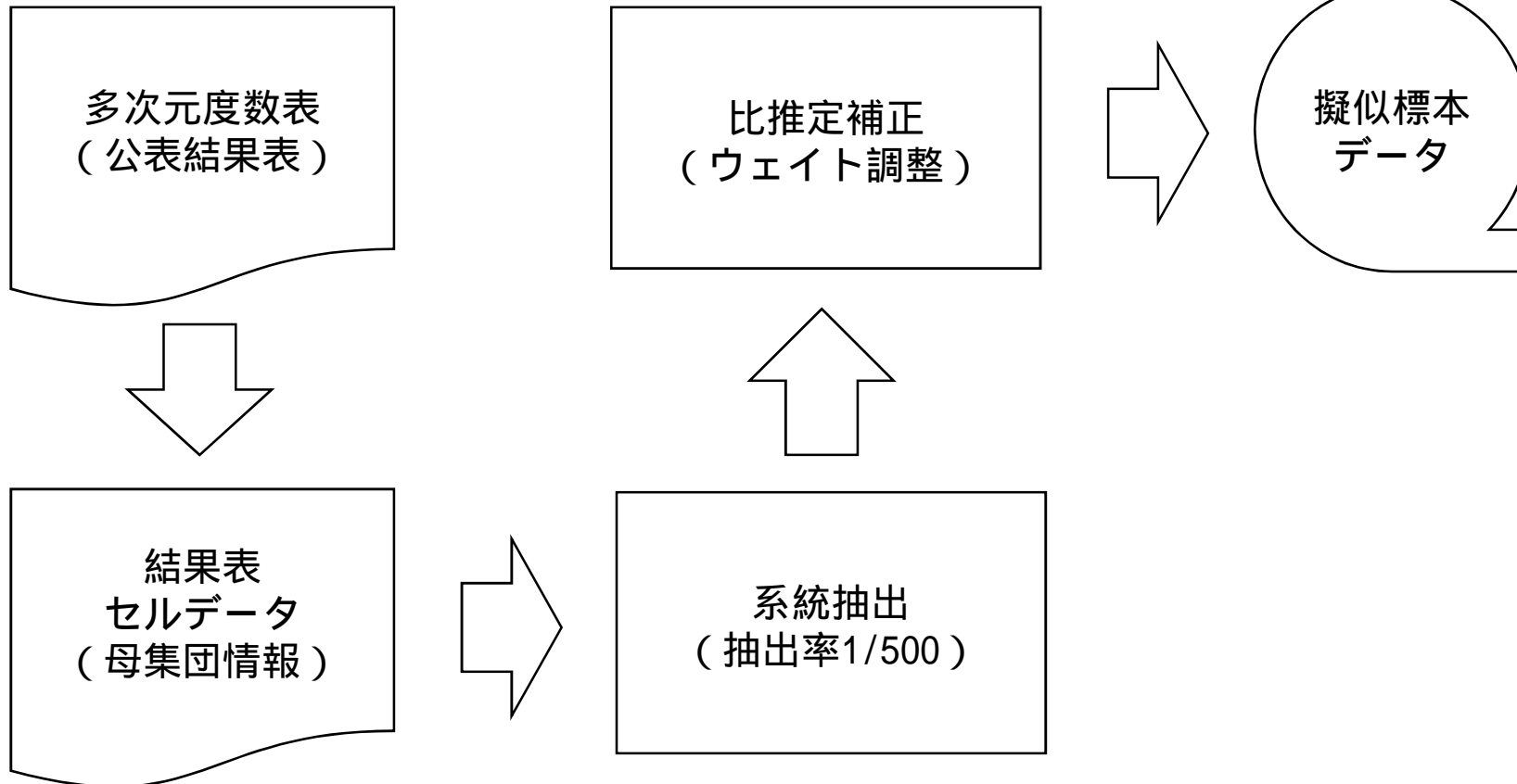
特徴

安定性	(乱数不要)
再現性	(誰でも作成可能)
誤差の低減	(比推定補正)
任意の抽出率	(0 ~ 100%以上)

提供用データは、平成4年、平成9年、平成14年、平成19年、平成24年の就業構造基本調査の公表結果表を用いて、抽出率500分の1相当の擬似標本データとして作成している。

< 作成概要 >

作成フロー



作成手順

- 1 . 使用データ
- 2 . 収録項目
- 3 . 年齢階級の区分統一
- 4 . 複数次元変換
- 5 . 系統抽出
- 6 . 比推定補正
- 7 . データ結合

1．使用データ

作成にあたっては、有業者と無業者について基データとして就業構造基本調査の都道府県編（平成4年及び9年は地域編）から各年次2種類の結果表を使用している。

結果表については、政府統計総合窓口(e-Stat)のAPI機能を利用してダウンロードしている。

(1) 平成24年就業構造基本調査（e-Stat都道府県編）

第1表（無業者）

男女，就業状態・仕事の主従，就業希望意識・就業希望の有無，求職活動の有無，配偶関係，年齢別15歳以上人口

第10表（有業者）

男女，産業，従業上の地位・雇用形態，起業の有無，年齢別有業者数

1 . 使用データ

(2) 平成19年就業構造基本調査（e-Stat都道府県編）

第1表（無業者）

男女，就業状態，就業希望意識・就業希望の有無，求職活動の有無，配偶関係，年齢別15歳以上人口

第7表（有業者）

男女，産業，従業上の地位，雇用形態，起業の有無，年齢別有業者数

(3) 平成14年就業構造基本調査（e-Stat都道府県編）

第1表（無業者）

男女，就業状態，就業希望意識・就業希望の有無，求職活動の有無，年齢別15歳以上人口

第7表（有業者）

男女，産業，従業上の地位，年齢別有業者数

1 . 使用データ

(4) 平成 9 年就業構造基本調査 (e-Stat地域編)

第 6 表 (有業者)

従業上の地位 (2) , 男女 (3) , 産業 (1 5) , 年齢 (1 2) , 有業者数

第24表 (無業者)

男女 (3) , 一般・単身世帯 (3) , 配偶関係 (4) , 就業希望の有無・求職活動の有無 (3) , 年齢 (1 4) , 無業者数

(5) 平成 4 年就業構造基本調査 (e-Stat地域編)

第 7 表 (有業者)

男女別 (3) , 産業 (1 3) , 従業上の地位 (2) , 年齢 (1 2) , 有業者数

第21表 (無業者)

配偶関係 (4) , 男女別 (3) , 年齢 (1 4) , 一般・単身世帯 (3) , 就業希望の有無・求職活動の有無 (5)

2 . 収録項目

データの収録項目は、共通項目 8 項目、有業者 3 項目、無業者 4 項目、符号ラベル等14項目の計29項目となっている。

(1) 共通項目 (8 項目)

データ名称、調査年、都道府県、政令市、市部、男女、年齢 (5 歳階級)、就業状態

(2) 有業者 (3 項目)

雇用形態、従業上の地位、産業

(3) 無業者 (4 項目)

年齢、配偶関係、就業希望の有無、求職活動の有無

(4) 符号ラベル + ウェイト (14 項目)

3 . 年齢階級の共通化

結果表において有業者と無業者の年齢階級が異なるため、無業者の階級内訳を合計することで年齢階級を共通化している。

年齢（共通）

15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、
35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、
55～59歳、60～64歳、65～69歳、70～74歳、
75歳以上（75～79歳 + 80～84歳 + 85歳以上）

年齢（無業者）

15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、
35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、
55～59歳、60～64歳、65～69歳、70～74歳、
75～79歳、80～84歳、85歳以上

3 . 年齢階級の共通化

有業者と無業者の年齢階級は、調査年次によって異なるため、調査年ごとに年齢階級の共通化を行っている。

最大年齢階級

	有業者（共通）	無業者
平成24年	75歳以上	85歳以上
平成19年	75歳以上	85歳以上
平成14年	65歳以上	75歳以上
平成9年	65歳以上	75歳以上
平成4年	65歳以上	75歳以上

4 . 複数次元変換

公表結果表を母集団情報として利用するために、公表結果表から分類項目ごとの総数の度数情報を除去することで分類項目の内訳のみの表を作成し、度数表内訳のセルデータに加工する。

また、地域及び就業状態等について1つの項目に複数の分類が含まれる(1)複合項目となっているため、これを(2)単項目複数次元に変換している。

(1) 複合項目

(1 つの項目に内訳となる分類が含まれている。)

地域

都道府県

市部か否か (市部* + 市部以外)

* 政令市か否か (政令市 + 政令市以外の市)

就業状態等 (無業者)

就業希望の有無 (就業希望者* + 非就業希望者)

* 求職活動の有無 (求職者 + 非求職者)

就業状態等 (有業者)

雇用形態 (雇用者* + 雇用者以外)

* 従業上の地位 (正規 + 非正規)

(2) 単項目複数次元

(複数の分類を含む複合項目を単項目複数次元に変換。)

地域

都道府県 × 市部 × 政令市

就業状態等 (無業者)

就業希望の有無 × 求職活動の有無

就業状態等 (有業者)

雇用形態 × 従業上の地位

例) 都道府県の分類変換のイメージ

変換前 (統計表)

地域コード	地域名	度数(人口)
01000	北海道	10,000
01001	北海道市部	8,000
01100	札幌市	5,000

変換後 (データ)

地域コード (都道府県 市部 市)	地域名	度数(人口)
01 001 100	北海道 市部 札幌市	5,000
→ 01 001	北海道 市部 (札幌市以外)	3,000 (8,000 - 5,000)
→ 01	北海道 (市部以外)	2,000 (10,000 - 8,000)

例) 無業者の分類変換のイメージ

変換前 (統計表)

分類コード	就業状態	度数(人口)
011	無業者	10,000
015	就業希望者	6,000
016	求職者	3,000
017	非求職者	2,000
018	非就業希望者	3,000

変換後 (データ)

分類コード (就業状態 希望 求職)	就業状態等	度数(人口)
011 015 016	無業者 就業希望者 求職者	3,000
011 015 017	無業者 就業希望者 非求職者	2,000
→ 011 015	無業者 就業希望者 (その他)	1,000 (6,000 - 5,000)
011 018	無業者 非就業希望者	3,000
→ 011	無業者 (その他)	1,000 (10,000 - 9,000)

例) 有業者の分類変換のイメージ

変換前 (統計表)

分類コード	就業状態	度数(人口)
001	有業者	6,000
007	雇用者	5,000
042	正規就業者	3,000
043	非正規就業者	1,000

変換後 (データ)

分類コード (就業状態 雇用 正規)	就業状態等	度数(人口)
001 007 042	有業者 雇用者 正規就業者	3,000
001 007 043	有業者 雇用者 非正規就業者	1,000
→ 001 007	有業者 雇用者 (その他)	1,000 (5,000 - 4,000)
→ 001	有業者 (雇用者以外)	1,000 (6,000 - 5,000)

5 . 系統抽出

系統抽出と同様の方法で抽出率500分の 1 相当の標本データを作成する。

(1) 公表結果表を加工して得られた内訳情報のセルデータを度数の大きさ順にソート

(2) 累積度数を計算した上で500の倍数を超えるごとにその分類項目と同じ属性のレコード 1 件を出力

例) 系統抽出 (累積度数が500の倍数を超えるごとに標本を抽出)

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	度数	累積	/500	(番号)
47	001		002	204	011		015	017	003	300	300	0.6	
47	001		002	205	011		018		003	300	600	1.2	1
47	001		002	206	011		015	016	001	300	900	1.8	
47	001		002	206	011		015	017	003	300	1200	2.4	2
47	001		002	206	011		018		001	300	1500	3.0	3
47	001		002	209	011		015	016	003	300	1800	3.6	
47	001		002	210	011		015	016	001	300	2100	4.2	4
47	001		002	211	011		015	016	002	300	2400	4.8	
47	001		002	301	011		018		001	300	2700	5.4	5
47	001		002	301	011		018		001	300	3000	6.0	6
01			001	208	011		018		003	400	3400	6.8	
01			001	209	011		018		003	400	3800	7.6	7
01			002	202	011		015	016	001	400	4200	8.4	8
01			002	204	011		015	016	001	400	4600	9.2	9
01			002	205	011		018		001	400	5000	10.0	10
01			002	210	011		015	017	001	400	5400	10.8	
01	001		001	203	011		018		002	400	5800	11.6	11
01	001		001	206	011		015	017	001	400	6200	12.4	12
01	001		001	206	011		018		001	400	6600	13.2	13
01	001		001	206	011		018		003	400	7000	14.0	14

例) 系統抽出

擬似標本データ

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	Weight	(番号)
47	001		002	205	011		018		003	500	1
47	001		002	206	011		015	017	003	500	2
47	001		002	206	011		018		001	500	3
47	001		002	210	011		015	016	001	500	4
47	001		002	301	011		018		001	500	5
47	001		002	301	011		018		001	500	6
01			001	209	011		018		003	500	7
01			002	202	011		015	016	001	500	8
01			002	204	011		015	016	001	500	9
01			002	205	011		018		001	500	10
01	001		001	203	011		018		002	500	11
01	001		001	206	011		015	017	001	500	12
01	001		001	206	011		018		001	500	13
01	001		001	206	011		018		003	500	14

注) 実際の作成では、500の累積度数を率に換算し、結果表から累積度数の率を照合する方法で標本レコードを選定している。

6 . 比推定補正

抽出作成した擬似標本データについて、

都道府県 × 性別 × 年齢 × 就業状態（有業 + 無業）

の人口を集計し、公表結果表の人口をベンチマーク人口として比推定乗率を計算する。

標本データの抽出率の逆数をウェイトとして比推定乗率を乗じた値を復元ウェイトとすることで標本データの比推定補正を行う。

7 . データ結合

有業者及び無業者について別々に作成したデータのフィールド名を統一し、1つのデータに結合することで提供用データを作成している。

8 . 集計結果のグラフ例

作成したデータを用いて、下記の集計結果グラフの作成が可能である。

- (1) 15歳以上人口の推移（都道府県別）
- (2) 人口ピラミッド（2012年全国15歳以上）
- (3) 年齢別人口の推移（全国）
- (4) 年齢別人口のコーホート比較（全国）
- (5) 年齢別人口の推移（東京都）
- (6) 年齢別人口コーホート比較（東京都）
- (7) 都道府県別有業者数の推移
- (8) 年齢別有業者数の推移（全国）
- (9) 年齢別有業者数のコーホート比較（全国）
- (10) 年齢別有業者数の推移（東京都）

8 . 集計結果のグラフ例

作成したデータを用いて、下記の集計結果グラフの作成が可能である。

- (11) 年齢別有業者コーホート比較（東京都）
- (12) 年齢別有業者率推移（全国男女計）
- (13) 年齢別有業者率推移（全国男性）
- (14) 年齢別有業者率推移（全国女性）
- (15) 年齢別有業者率の推移（東京都男女計）
- (16) 年齢別有業者率推移（東京都男性）
- (17) 年齢別有業者率推移（東京都女性）
- (18) 年齢別雇用者数の推移（全国）
- (19) 年齢別雇用者数のコーホート比較（全国）
- (20) 正規雇用率（2012年全国）

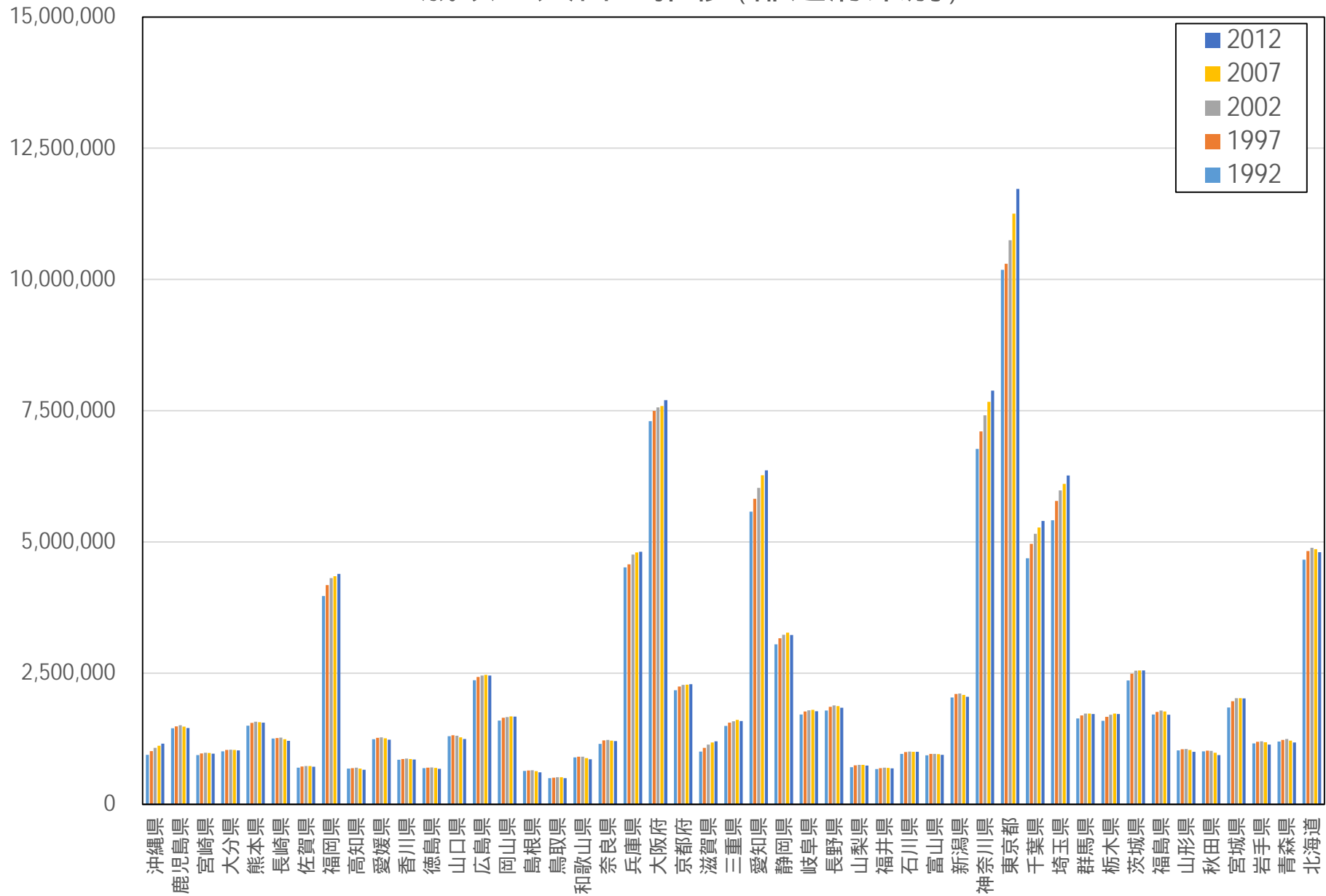
8 . 集計結果のグラフ例

作成したデータを用いて、下記の集計結果グラフの作成が可能である。

- (21) 非正規雇用率（2012年全国）
- (22) 求職者数の推移（全国男性）
- (23) 求職者数の推移（全国女性）
- (24) 男女別求職者数（2012年全国）
- (25) 男女別配偶関係別求職者数（2012年全国）
- (26) 有業者の産業構成比（2012年全国）
- (27) 有業者の産業構成比（2012年東京都区部）

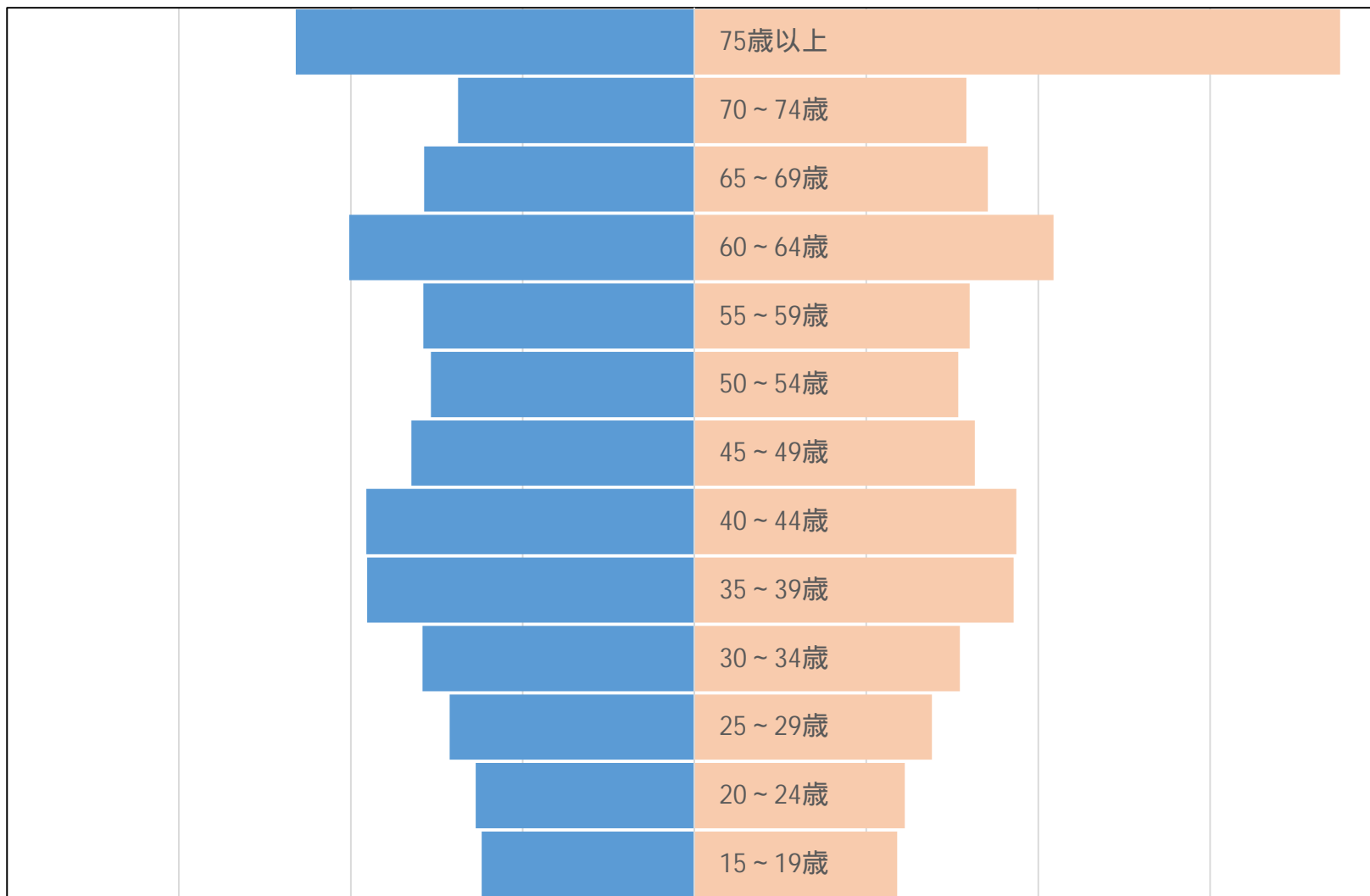
集計結果のグラフ例(1)

15歳以上人口の推移(都道府県別)



集計結果のグラフ例(2)

人口ピラミッド(2012年全国15歳以上)

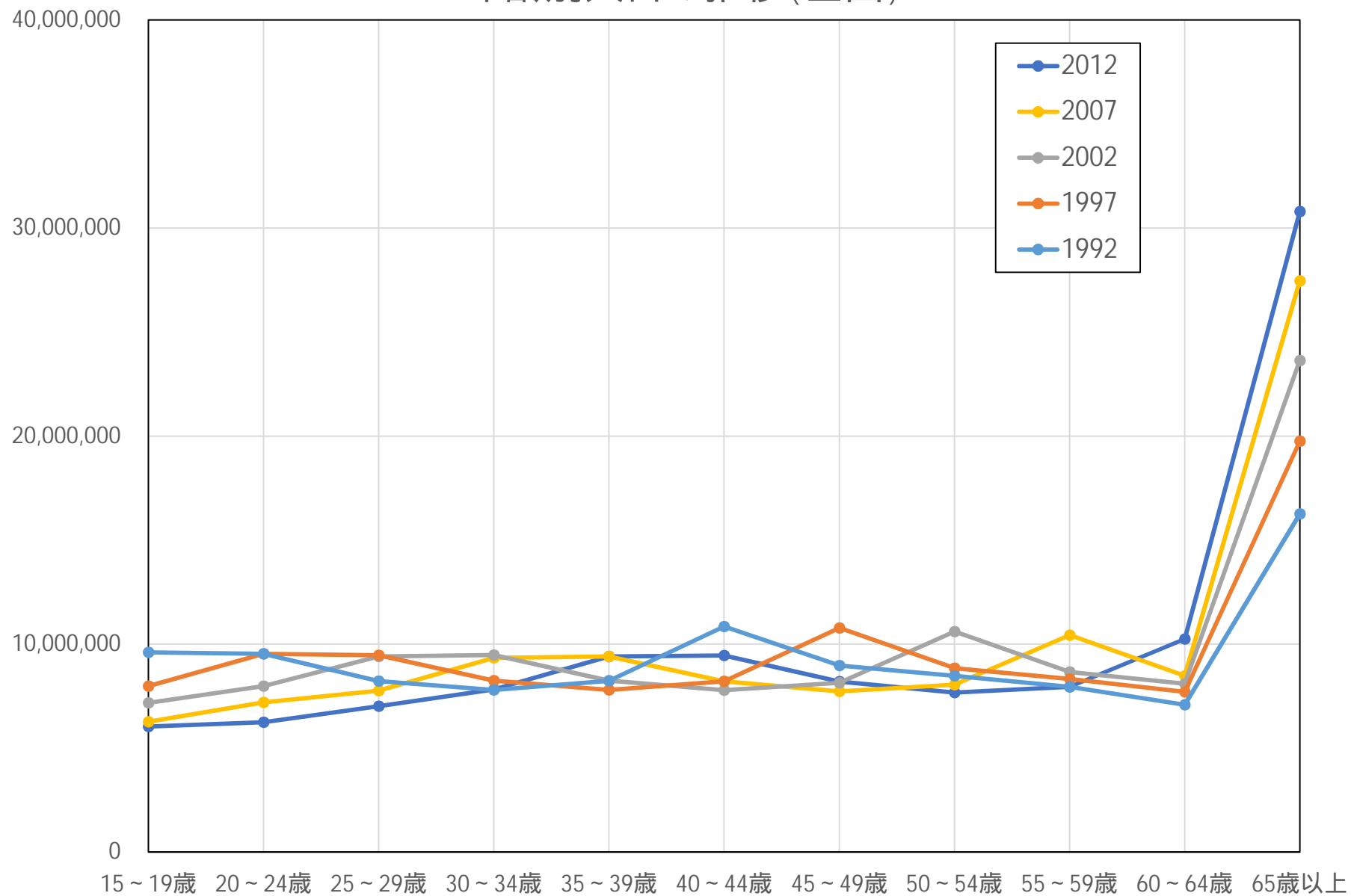


10,000,000 7,500,000 5,000,000 2,500,000 0 2,500,000 5,000,000 7,500,000 10,000,000

■ 男 ■ 女

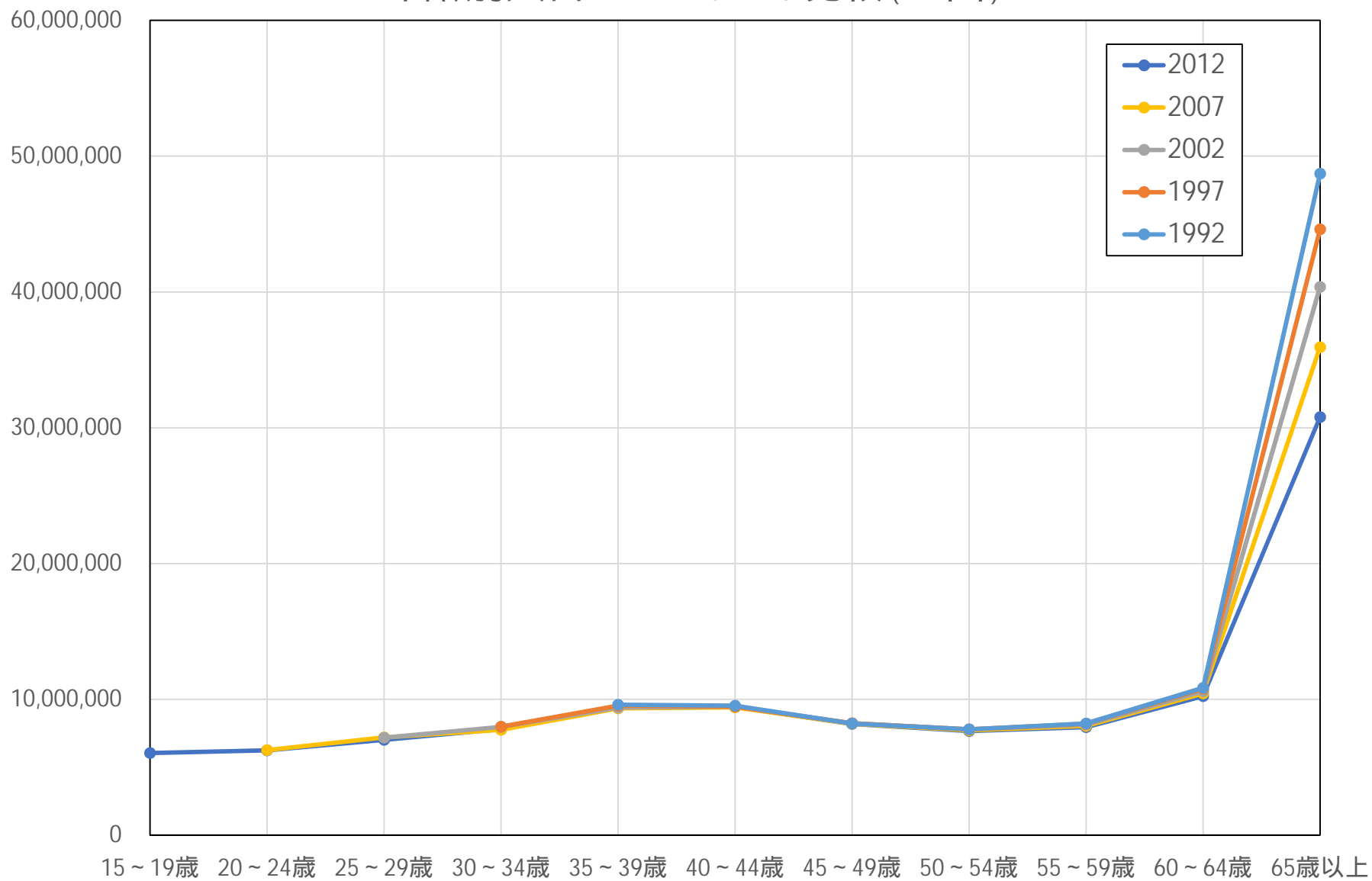
集計結果のグラフ例(3)

年齢別人口の推移(全国)



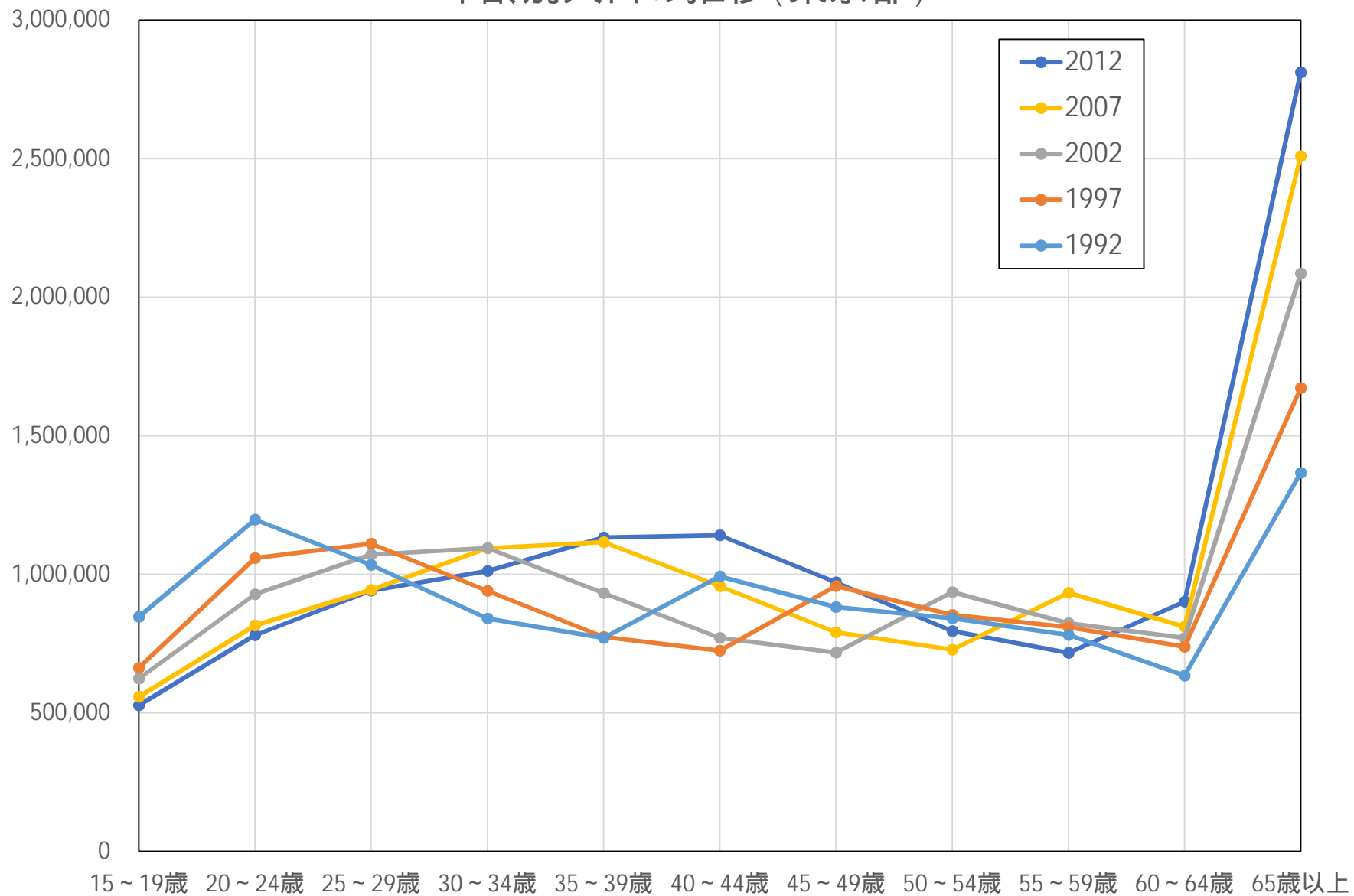
集計結果のグラフ例(4)

年齢別人口のコーホート比較(全国)



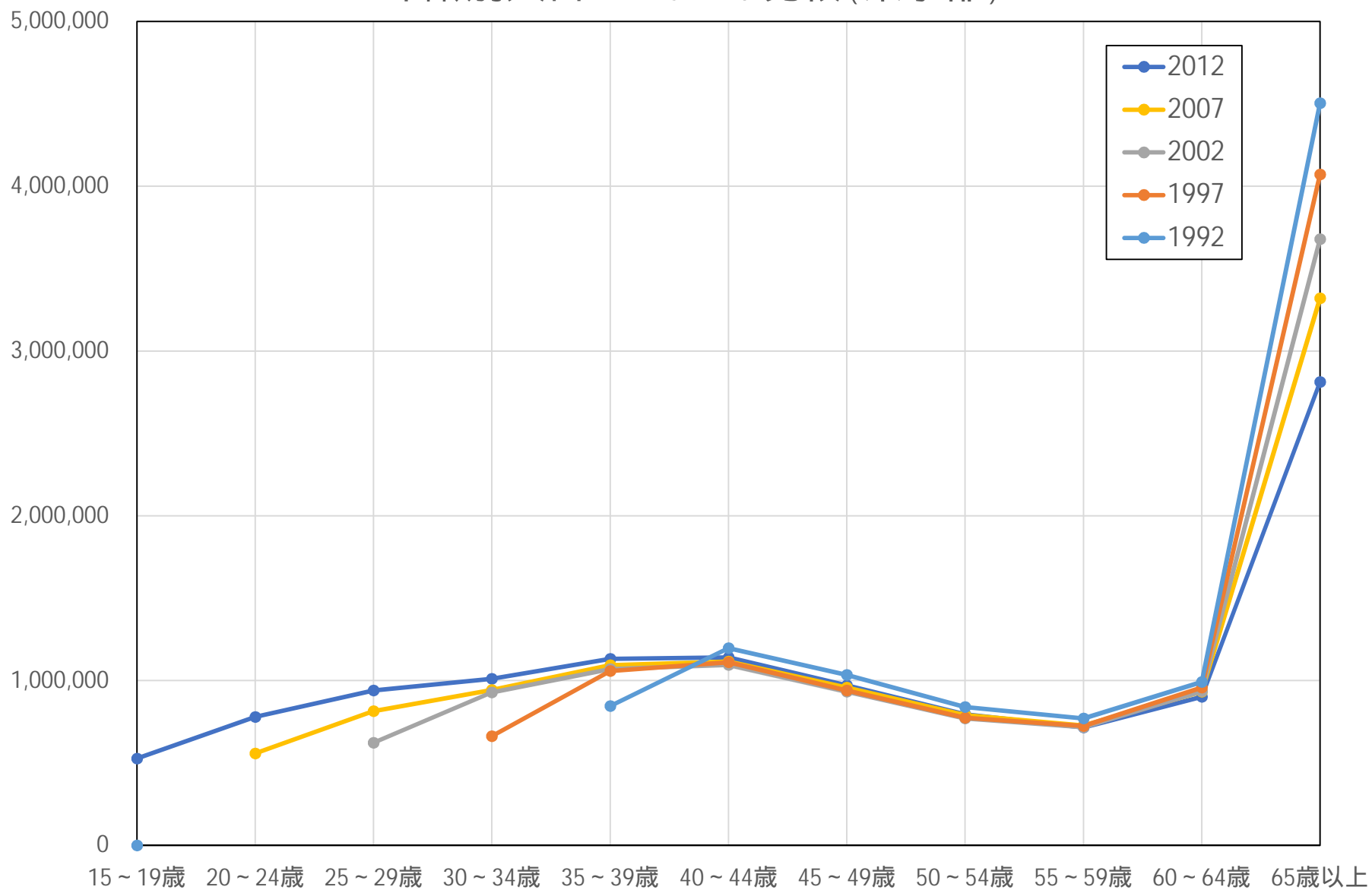
集計結果のグラフ例(5)

年齢別人口の推移(東京都)



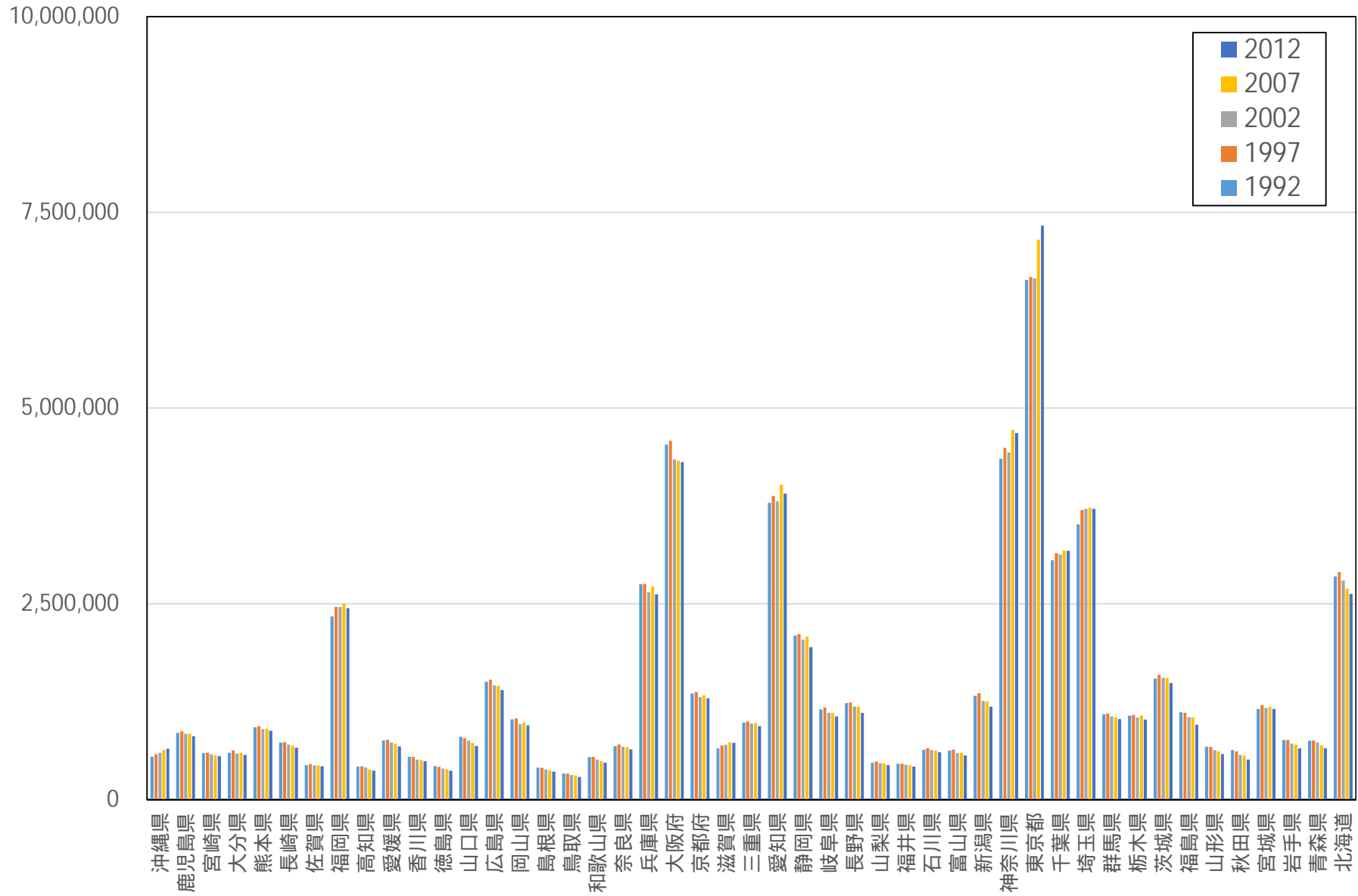
集計結果のグラフ例(6)

年齢別人口コーホート比較(東京都)



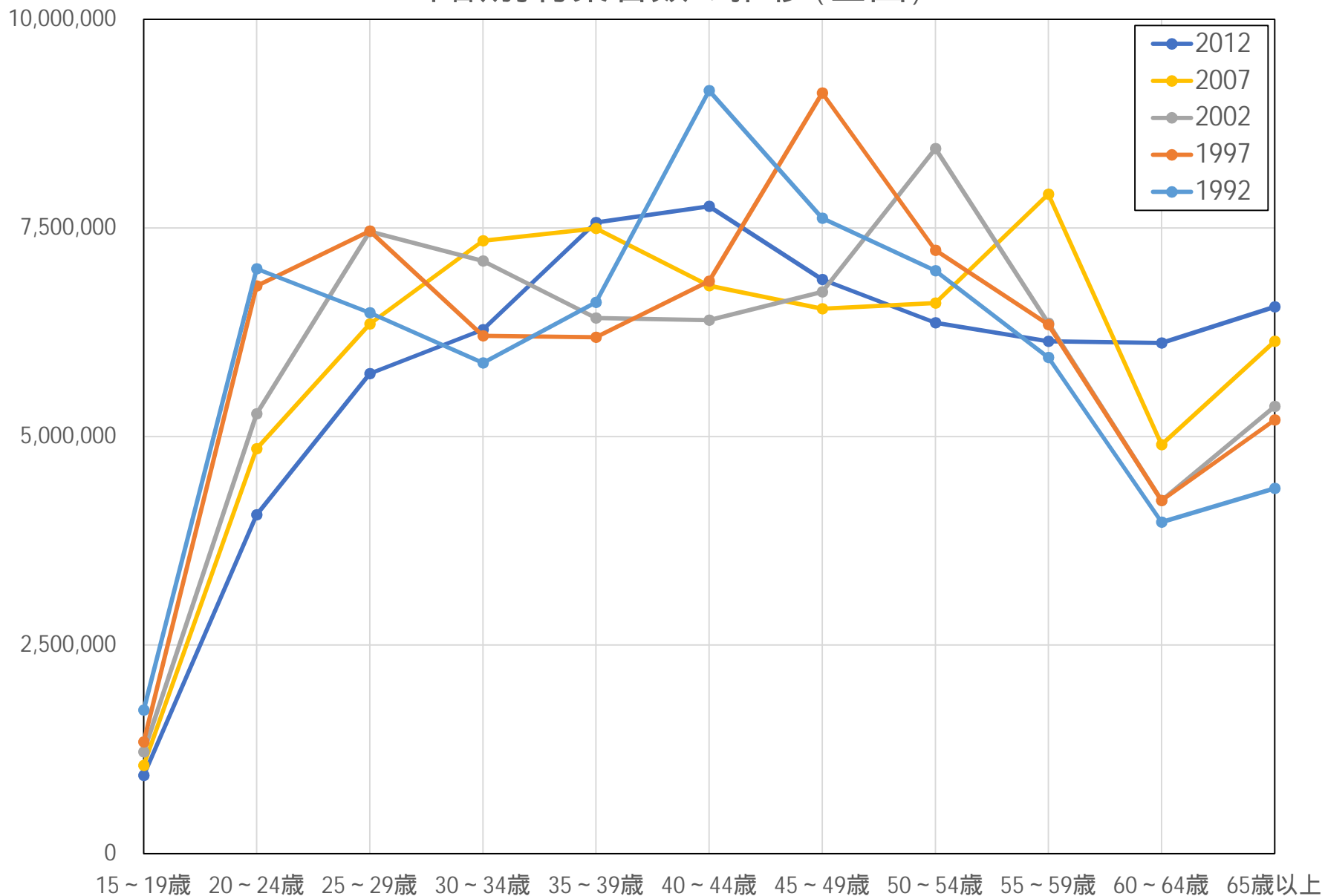
集計結果のグラフ例(7)

都道府県別有業者数の推移



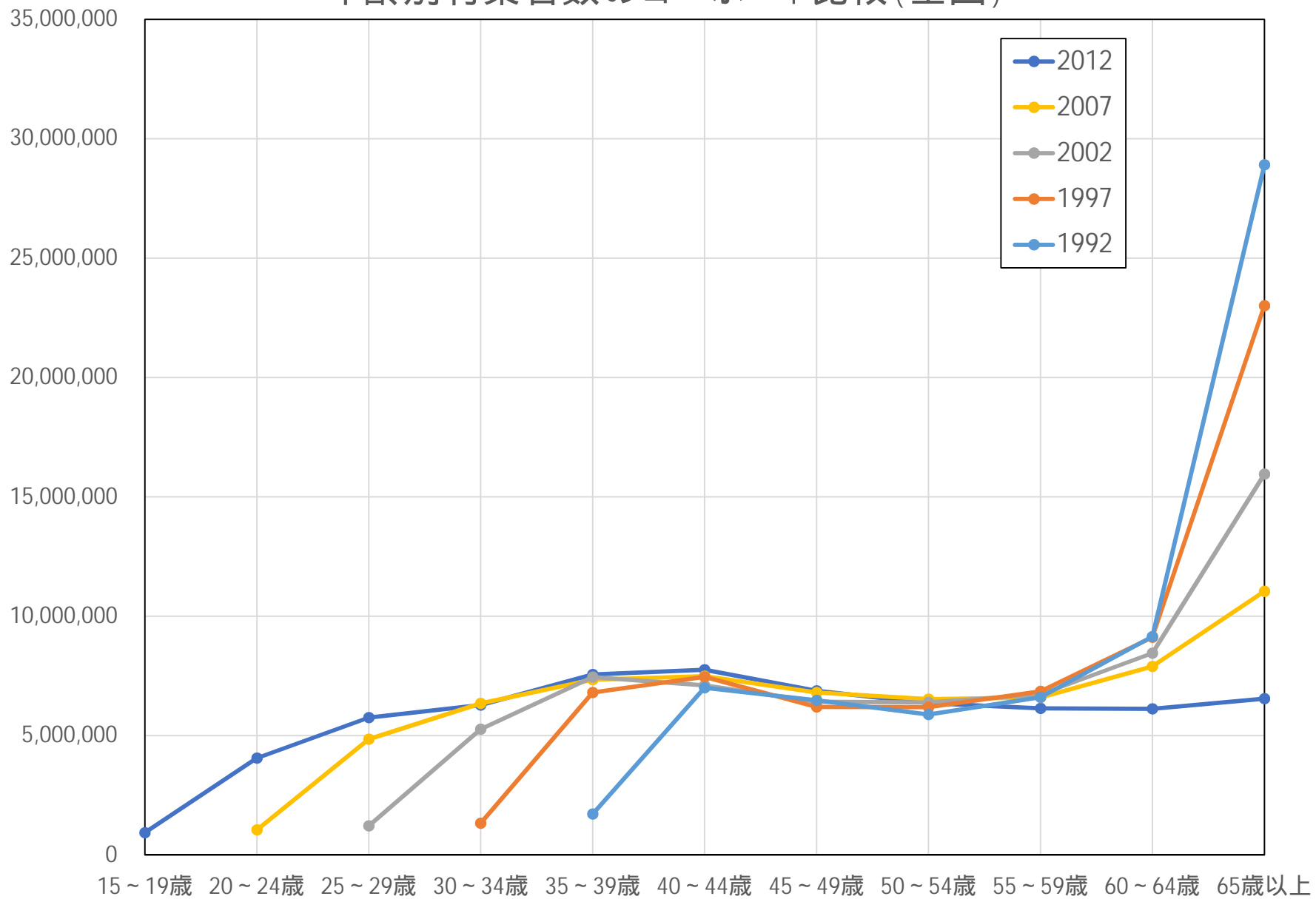
集計結果のグラフ例(8)

年齢別有業者数の推移(全国)



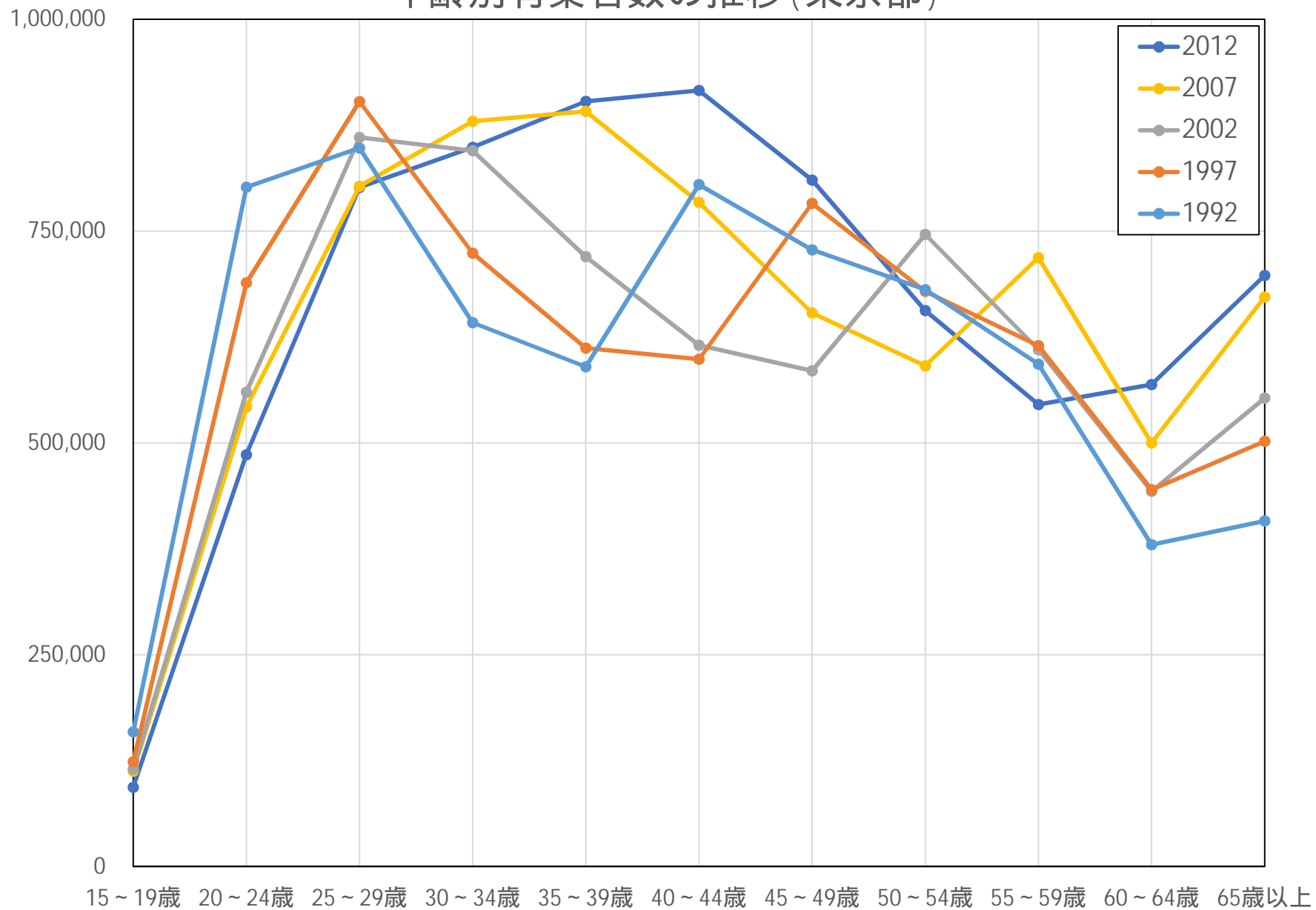
集計結果のグラフ例(9)

年齢別有業者数のコーホート比較(全国)



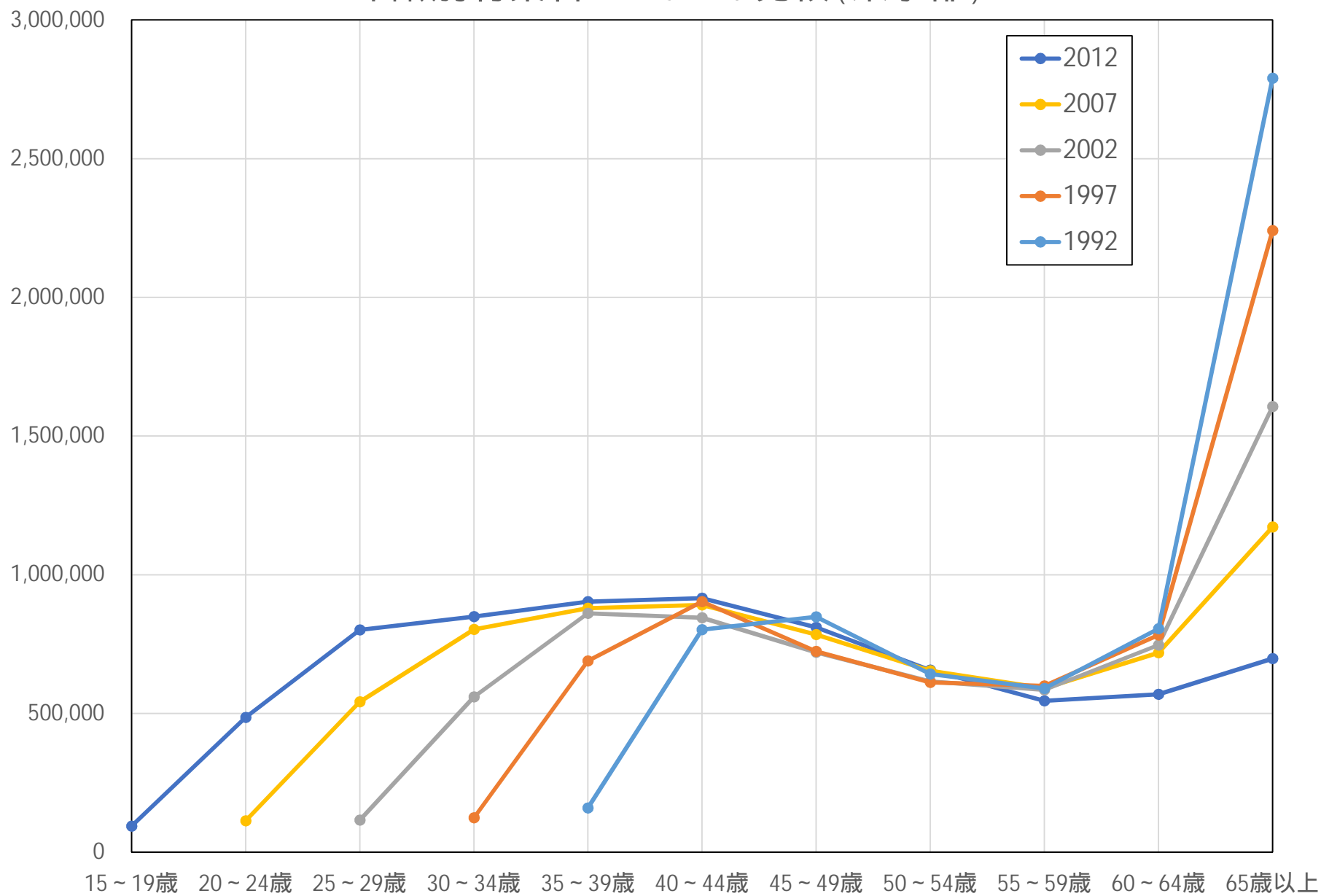
集計結果のグラフ例(10)

年齢別有業者数の推移(東京都)



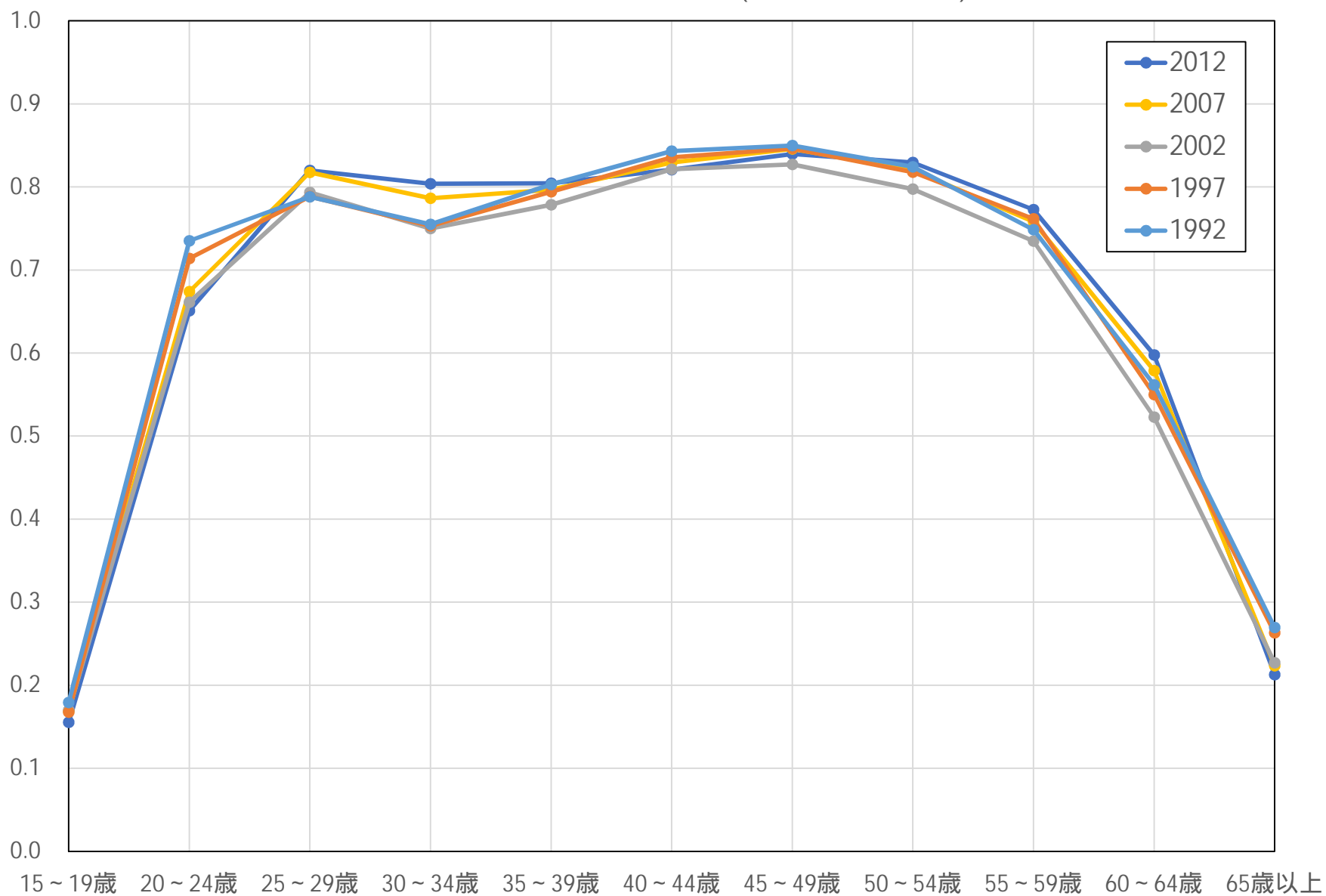
集計結果のグラフ例(11)

年齢別有業者コーホート比較(東京都)



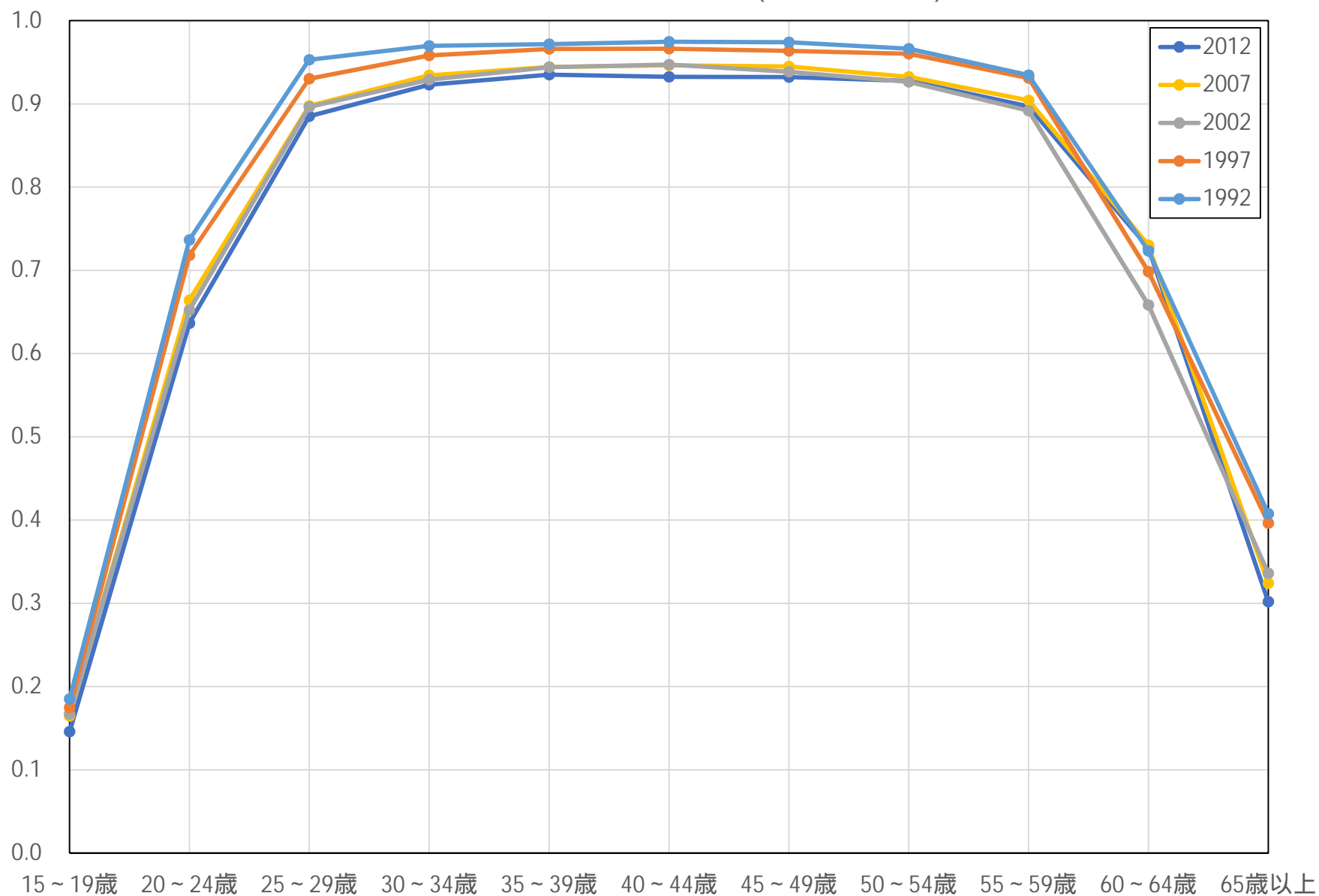
集計結果のグラフ例(12)

年齢別有業者率推移(全国男女計)



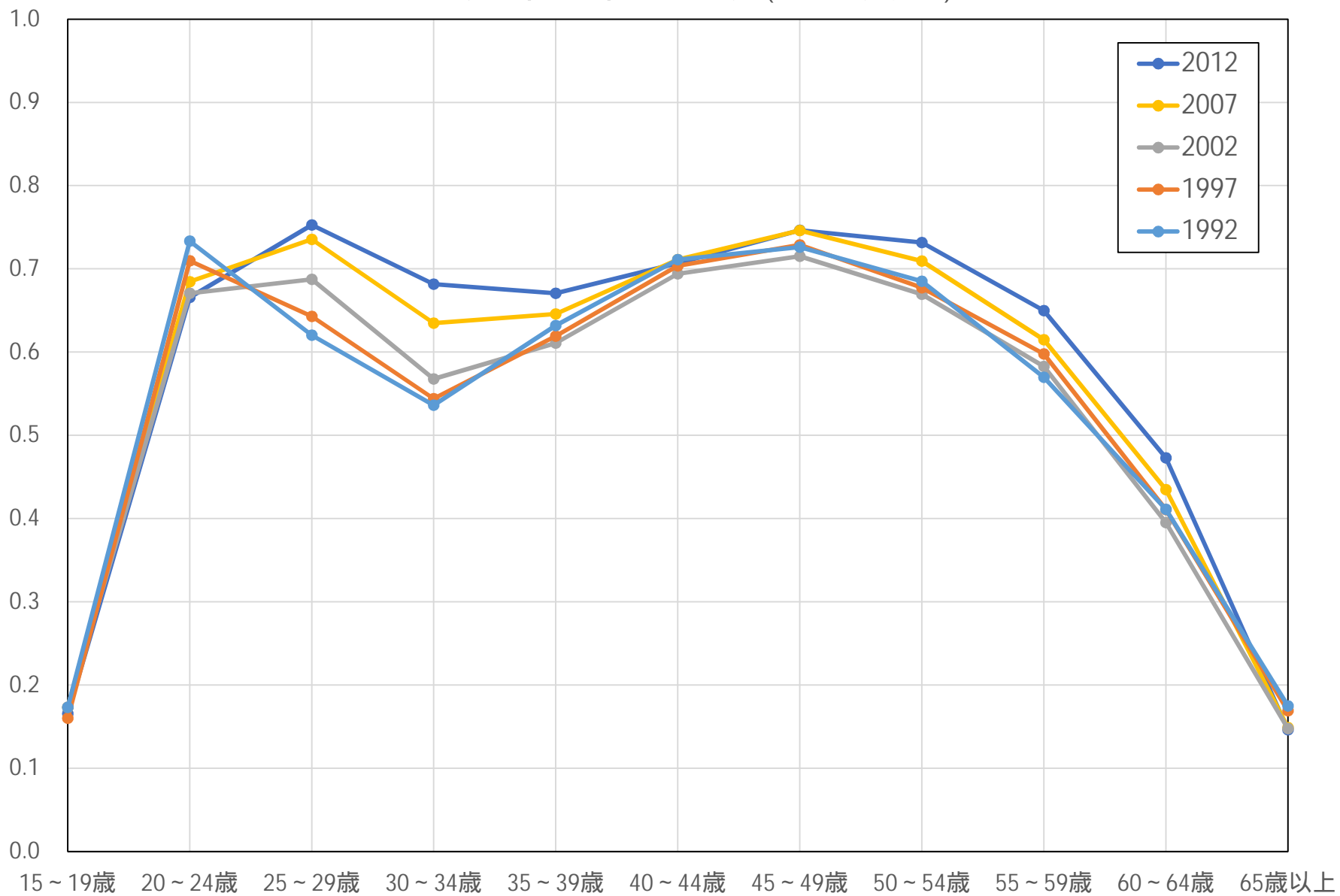
集計結果のグラフ例(13)

年齢別有業者率推移(全国男性)



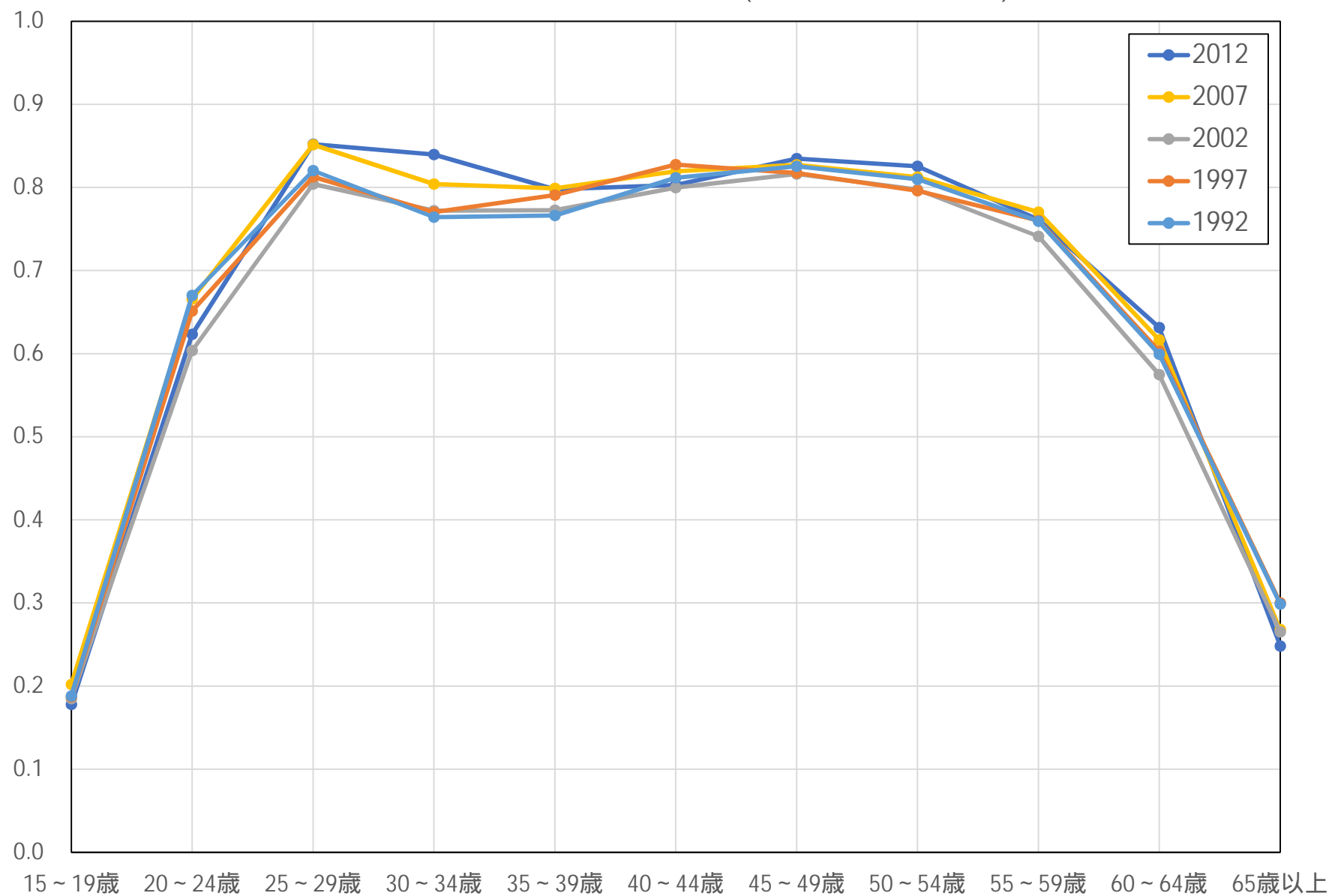
集計結果のグラフ例(14)

年齢別有業者率推移(全国女性)



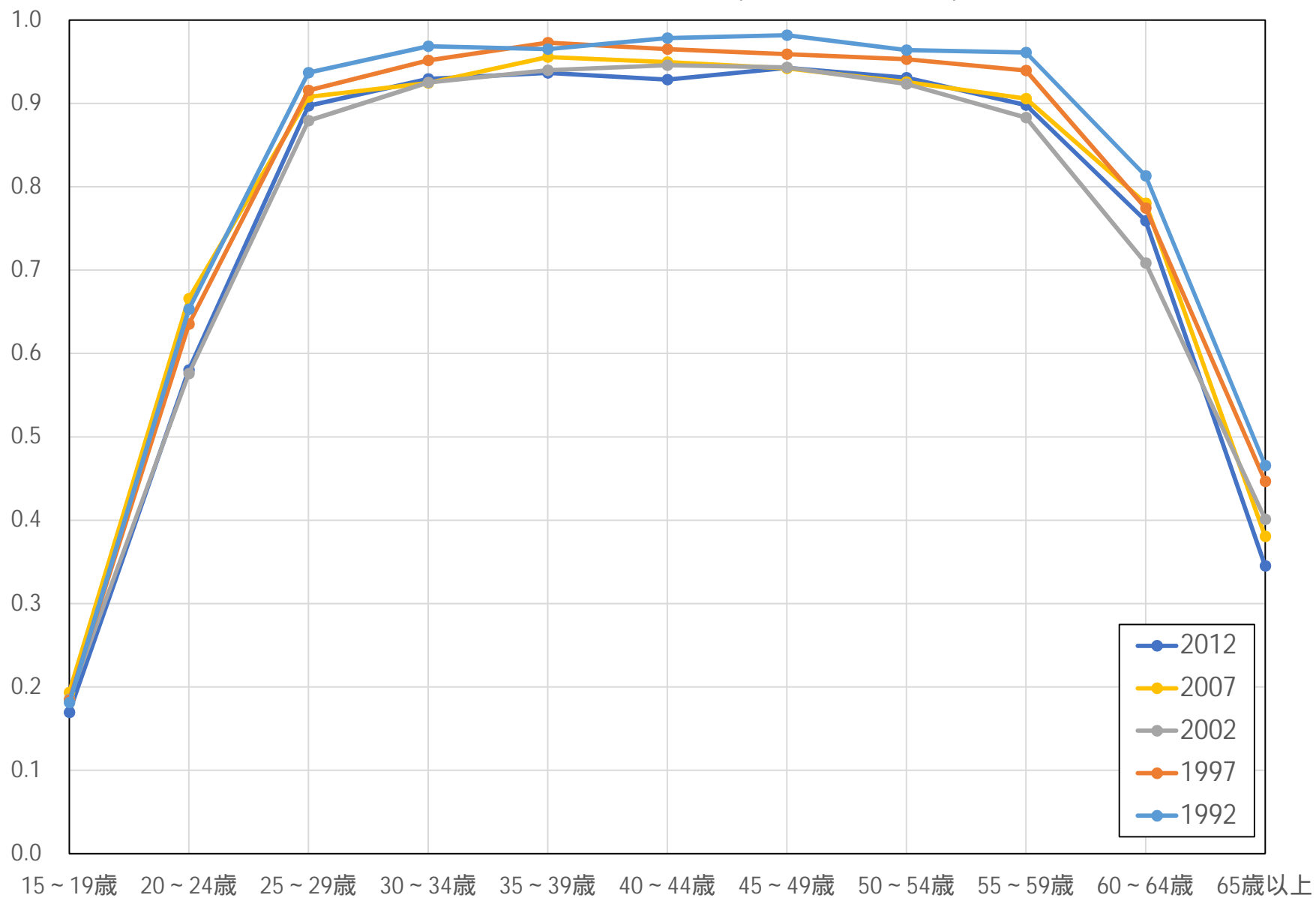
集計結果のグラフ例(15)

年齢別有業者率の推移(東京都男女計)



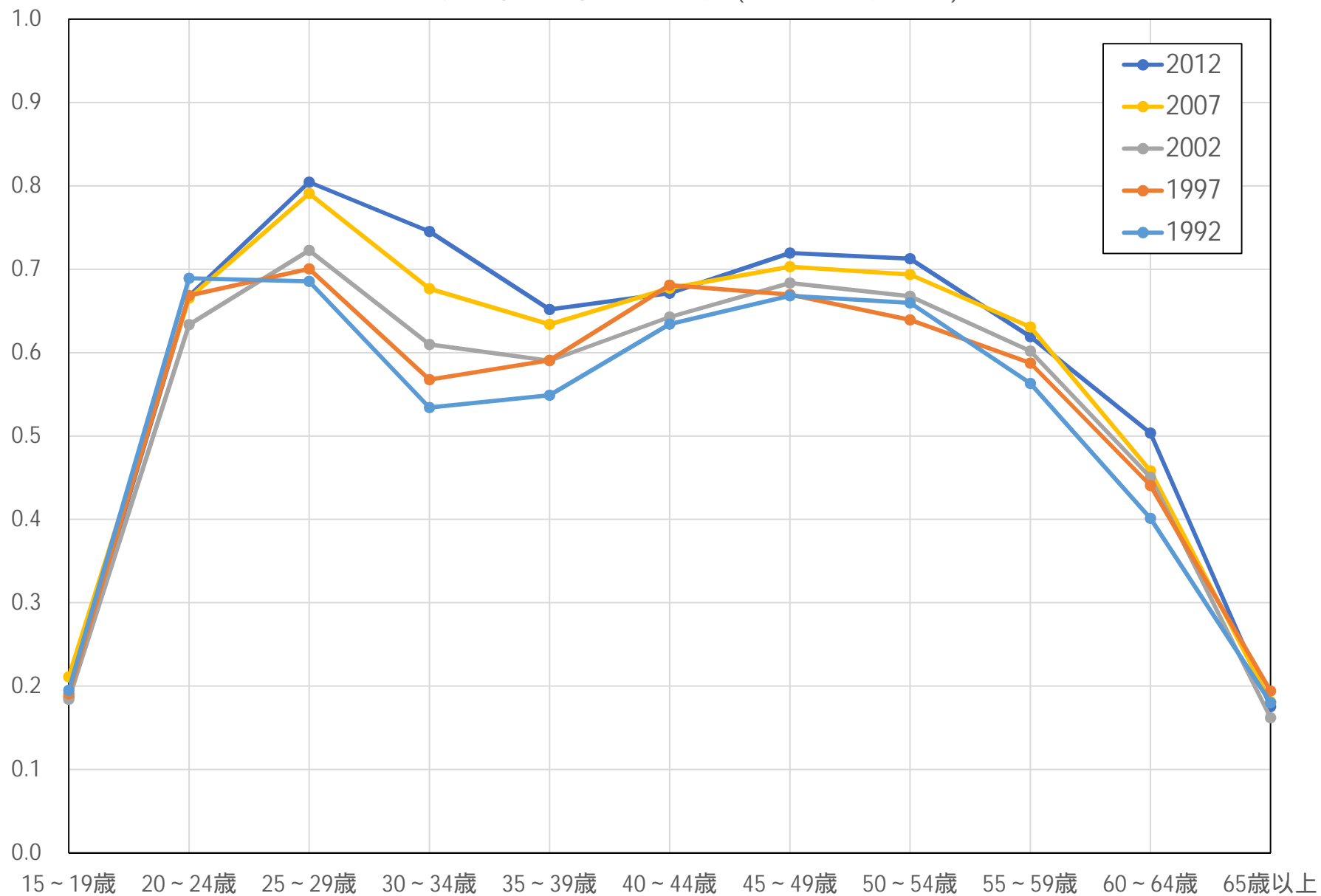
集計結果のグラフ例(16)

年齢別有業者率推移(東京都男性)



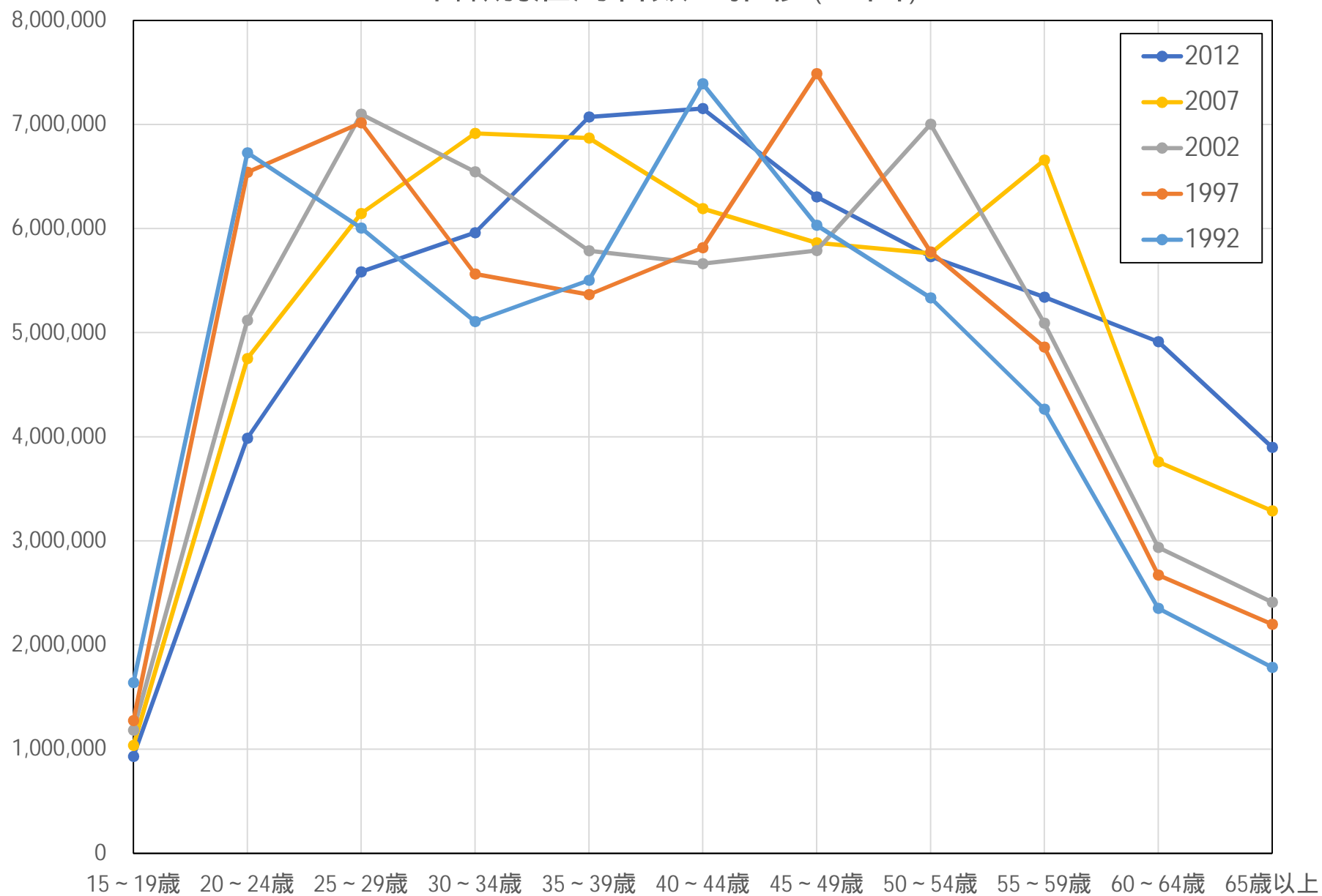
集計結果のグラフ例(17)

年齢別有業者率推移(東京都女性)



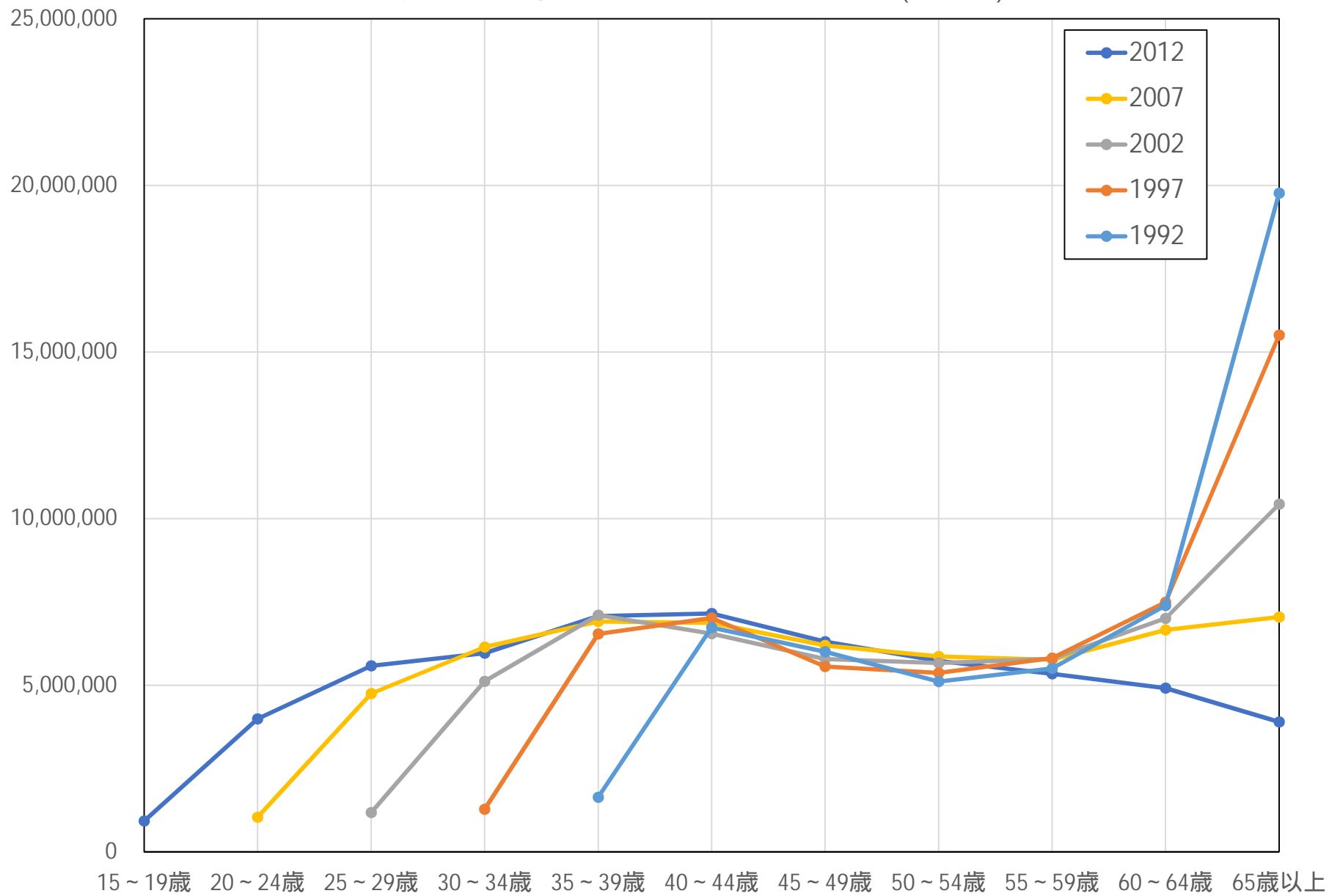
集計結果のグラフ例(18)

年齢別雇用者数の推移(全国)



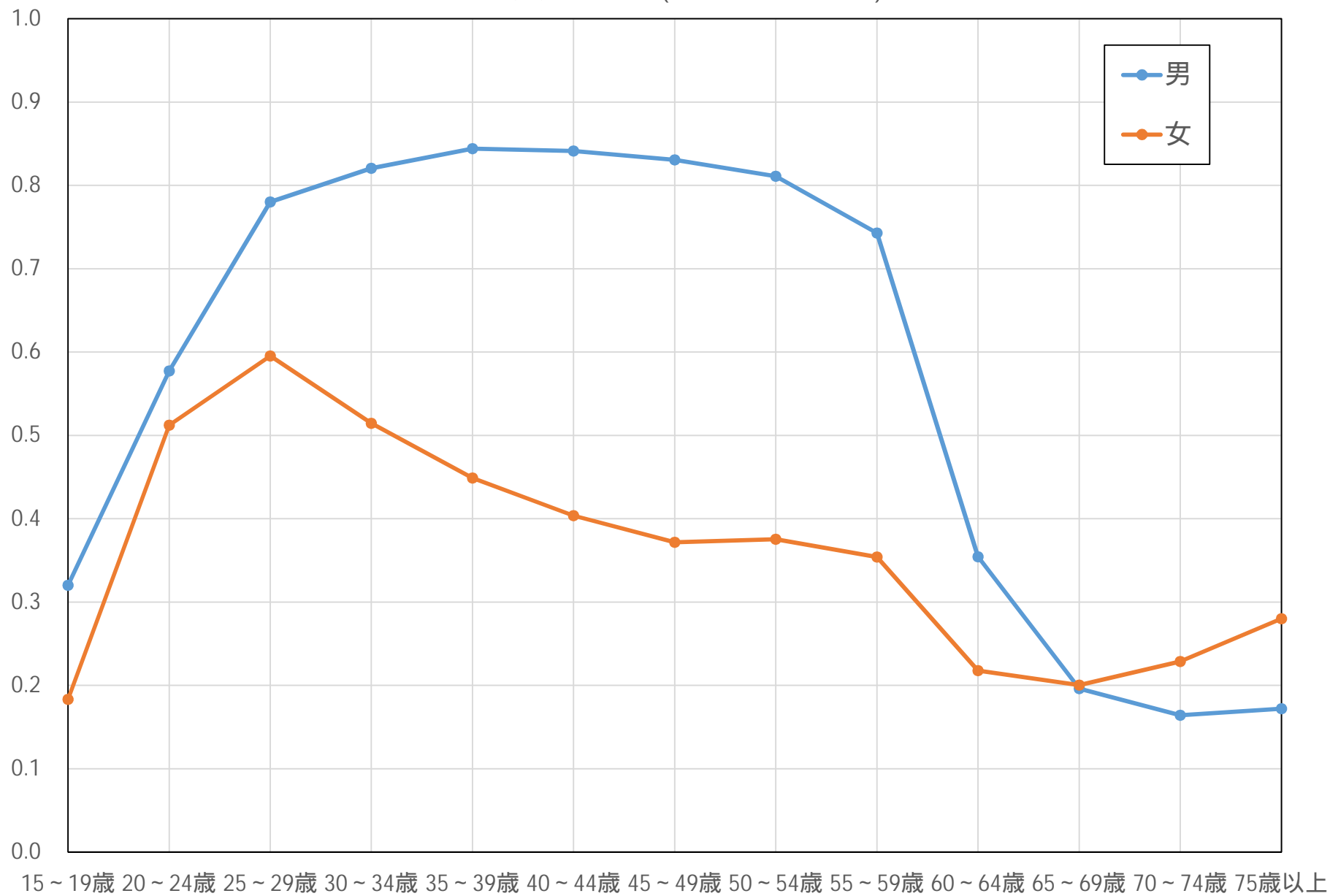
集計結果のグラフ例(19)

年齢別雇用者数のコーホート比較(全国)



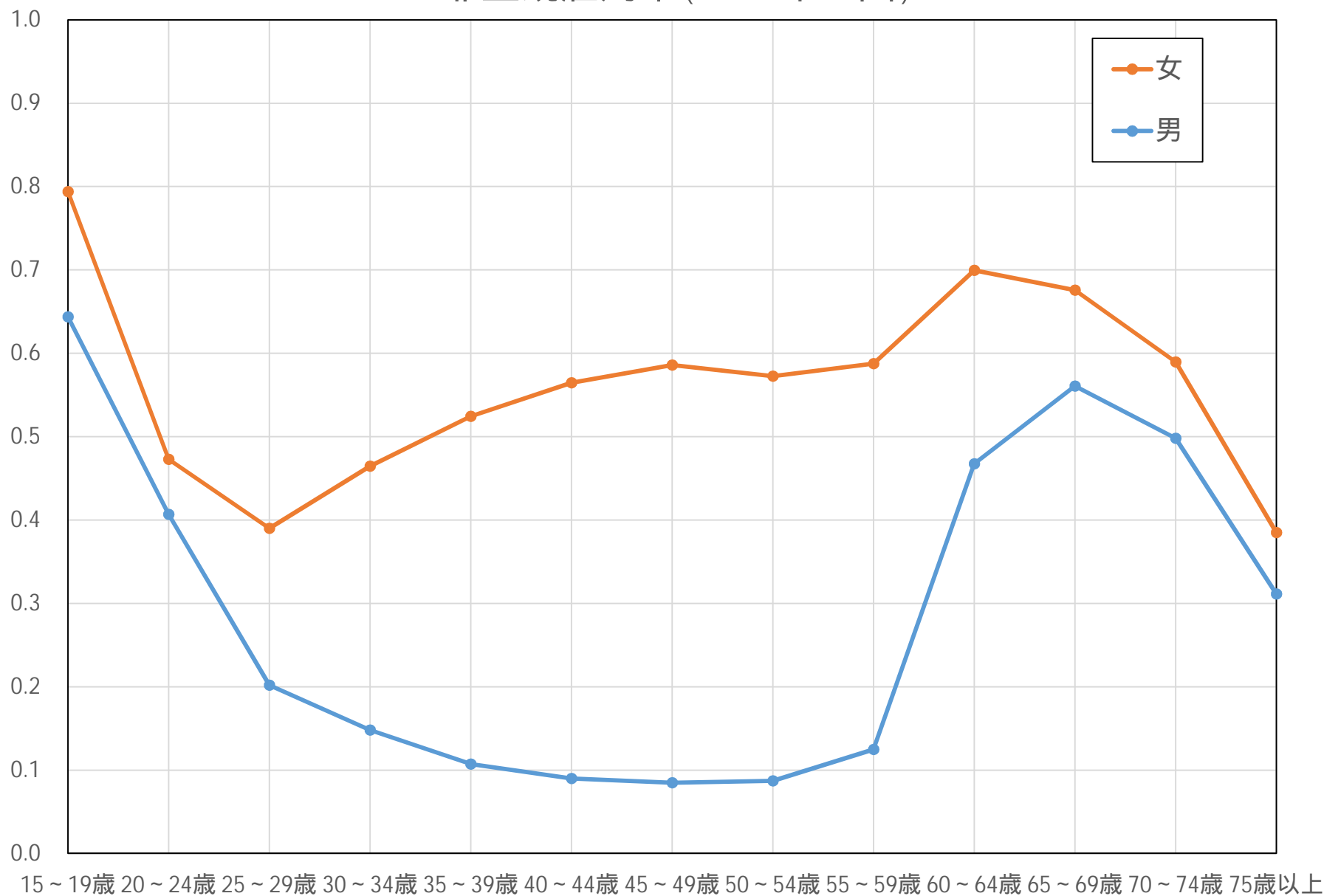
集計結果のグラフ例(20)

正規雇用率(2012年全国)



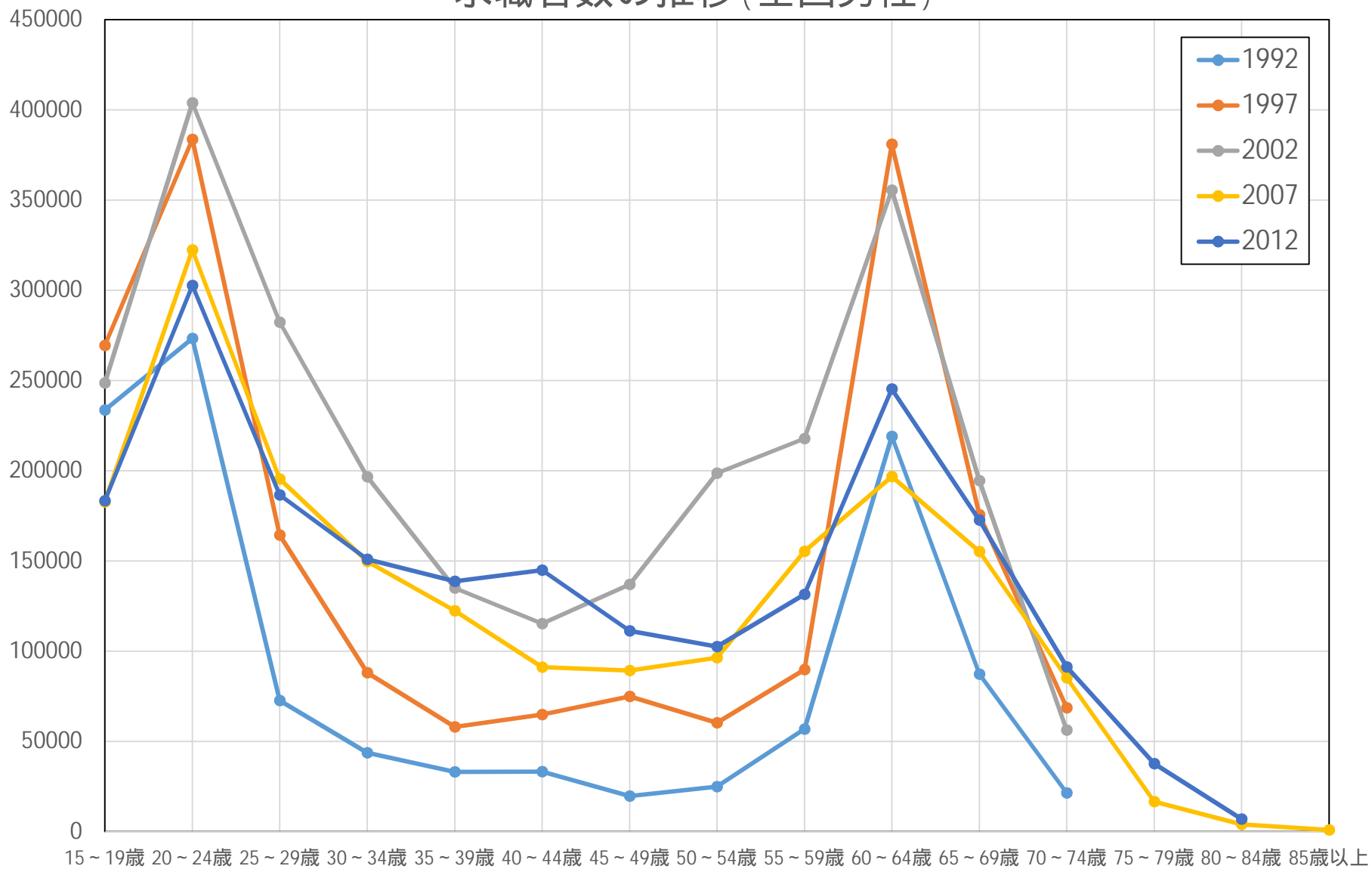
集計結果のグラフ例(21)

非正規雇用率(2012年全国)



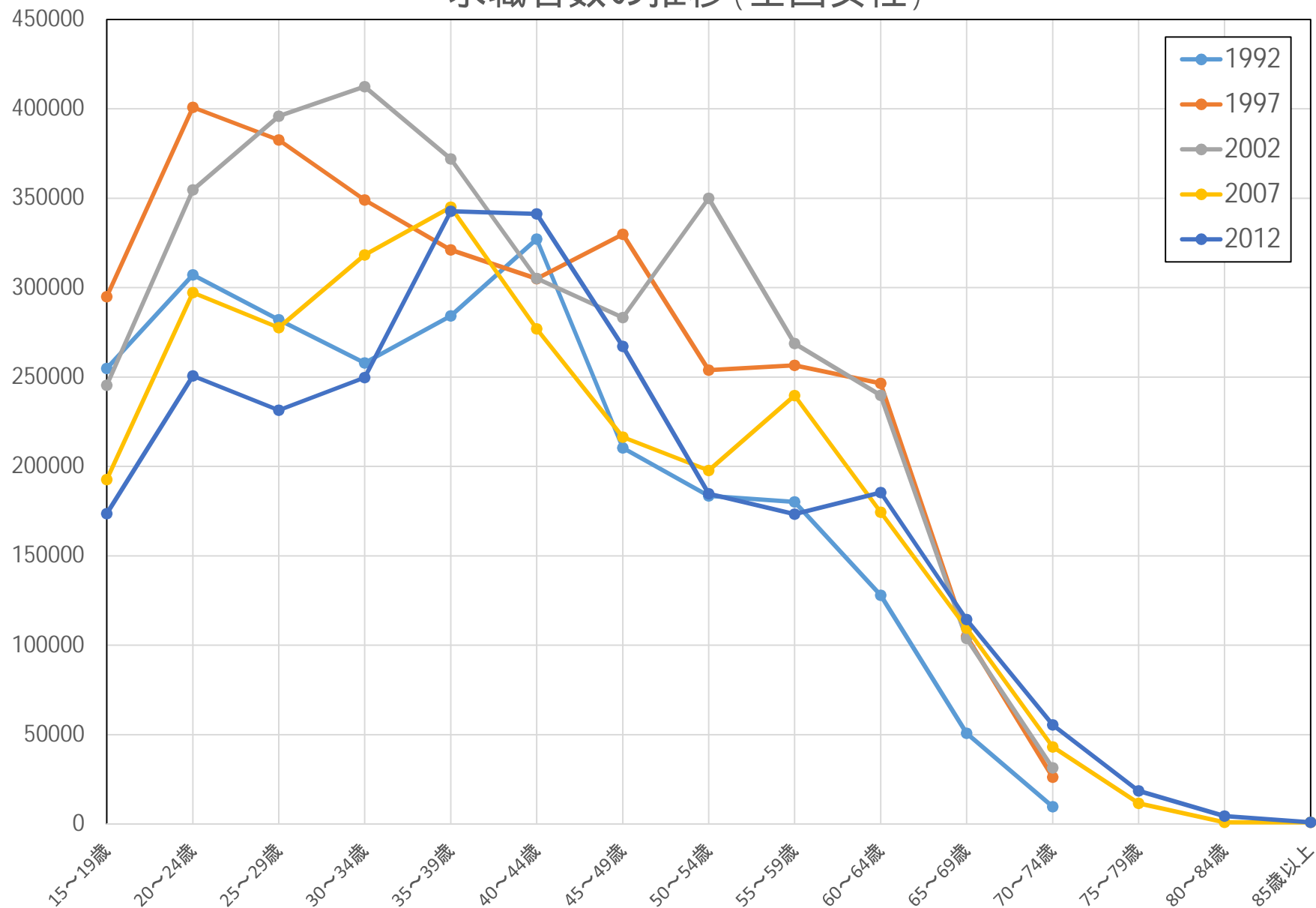
集計結果のグラフ例(22)

求職者数の推移(全国男性)



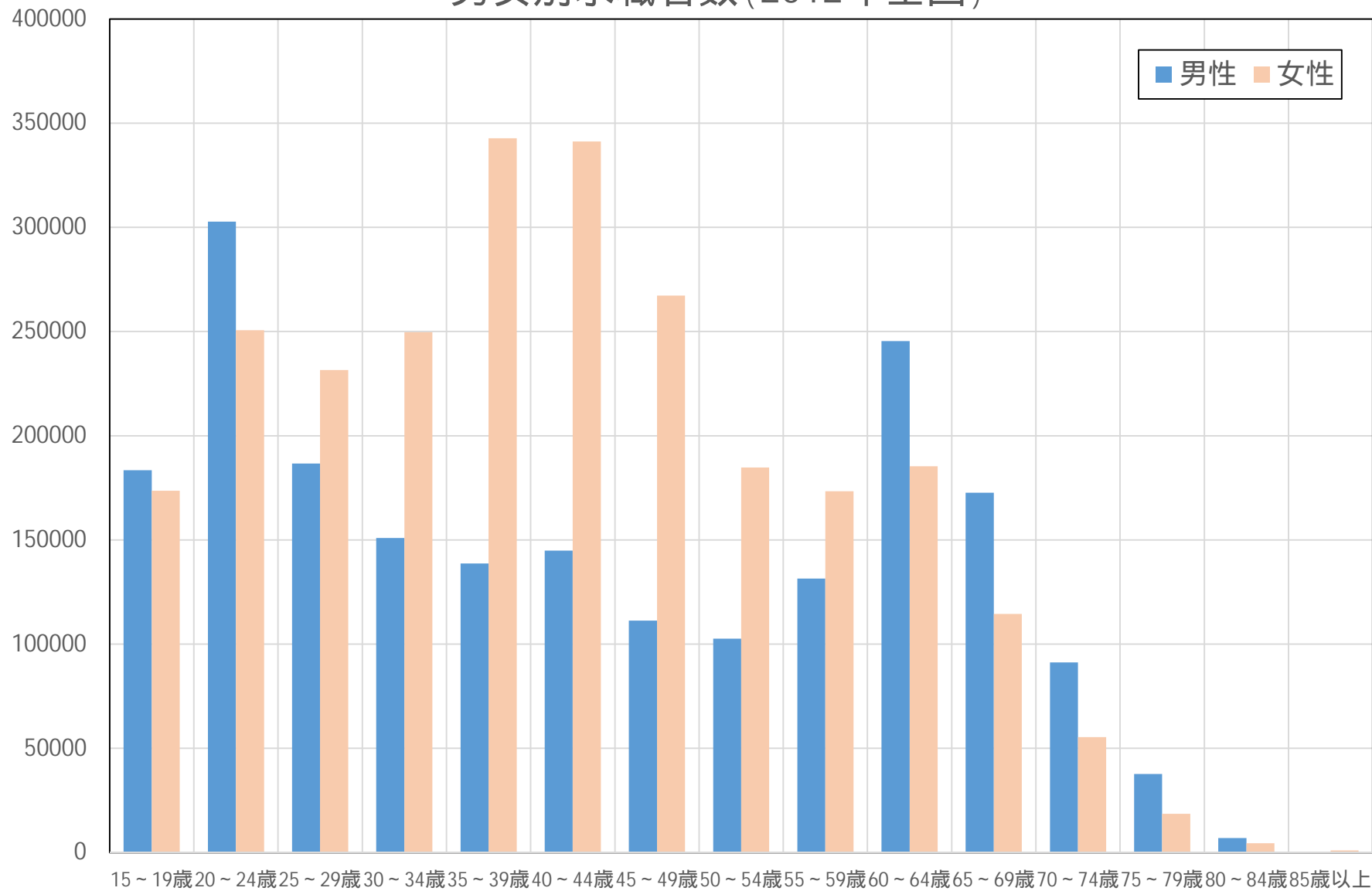
集計結果のグラフ例(23)

求職者数の推移(全国女性)



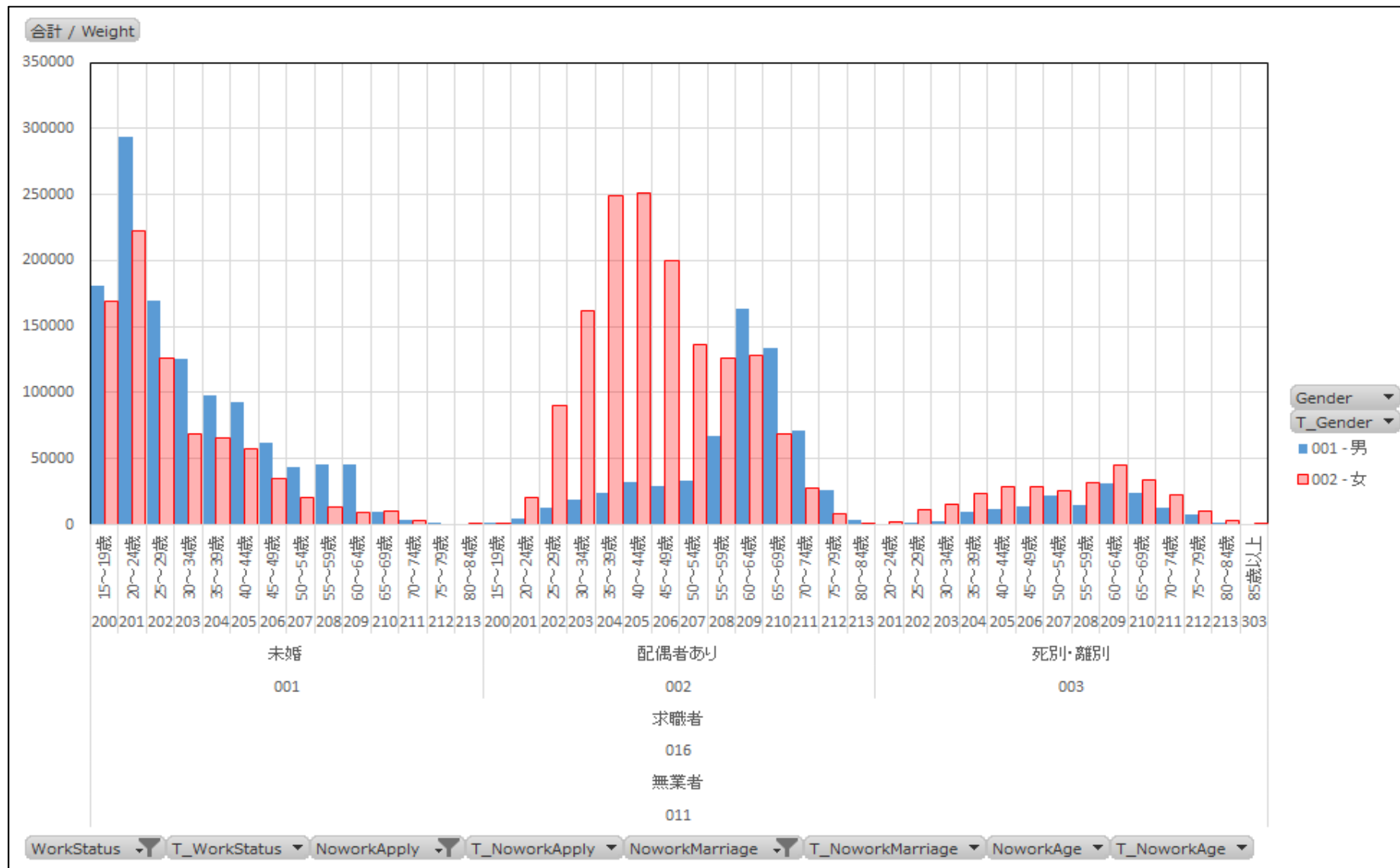
集計結果のグラフ例(24)

男女別求職者数(2012年全国)



集計結果のグラフ例(25)

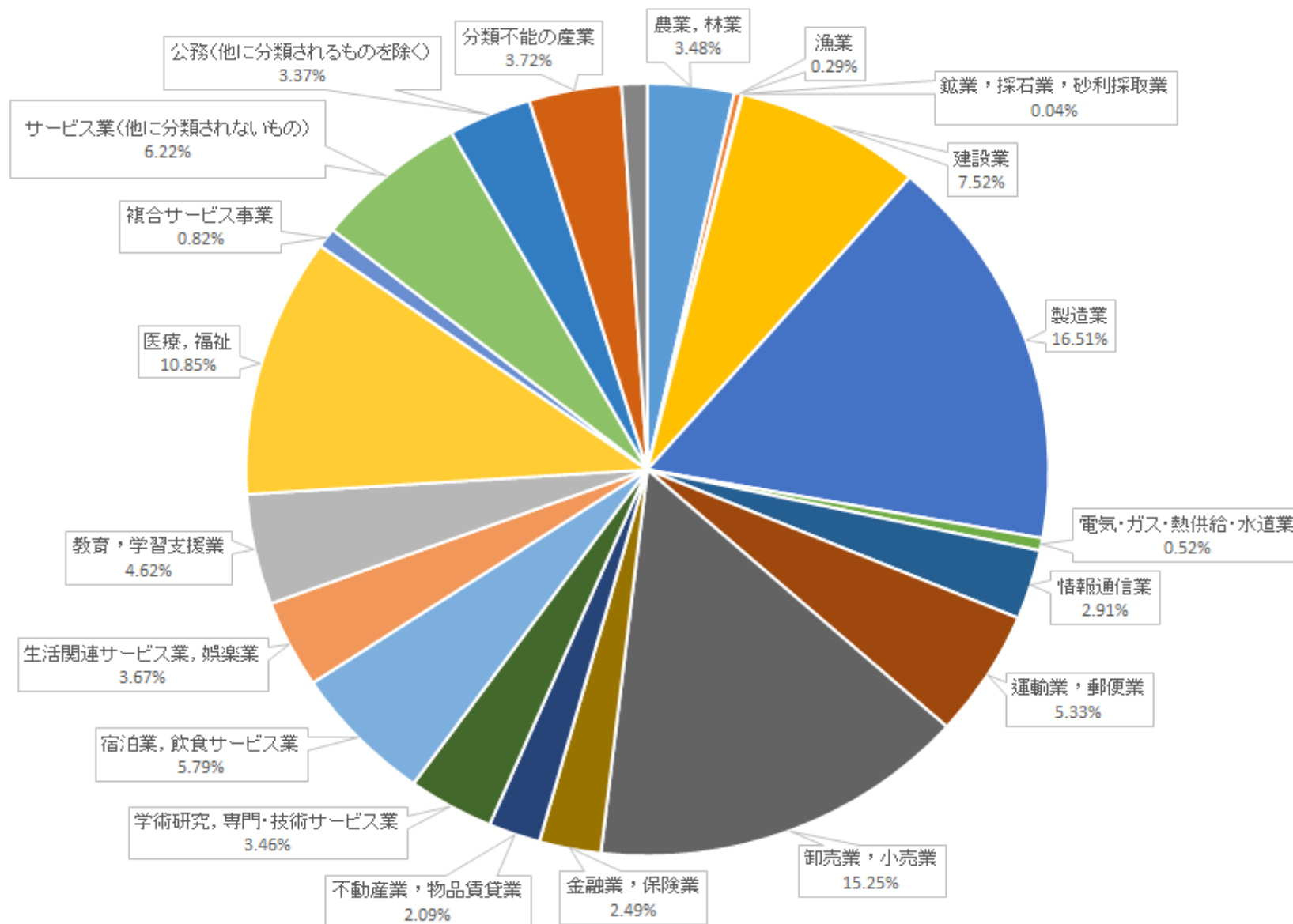
配偶関係別求職者数(2012年全国)



(ピボットテーブルによる集計グラフの例)

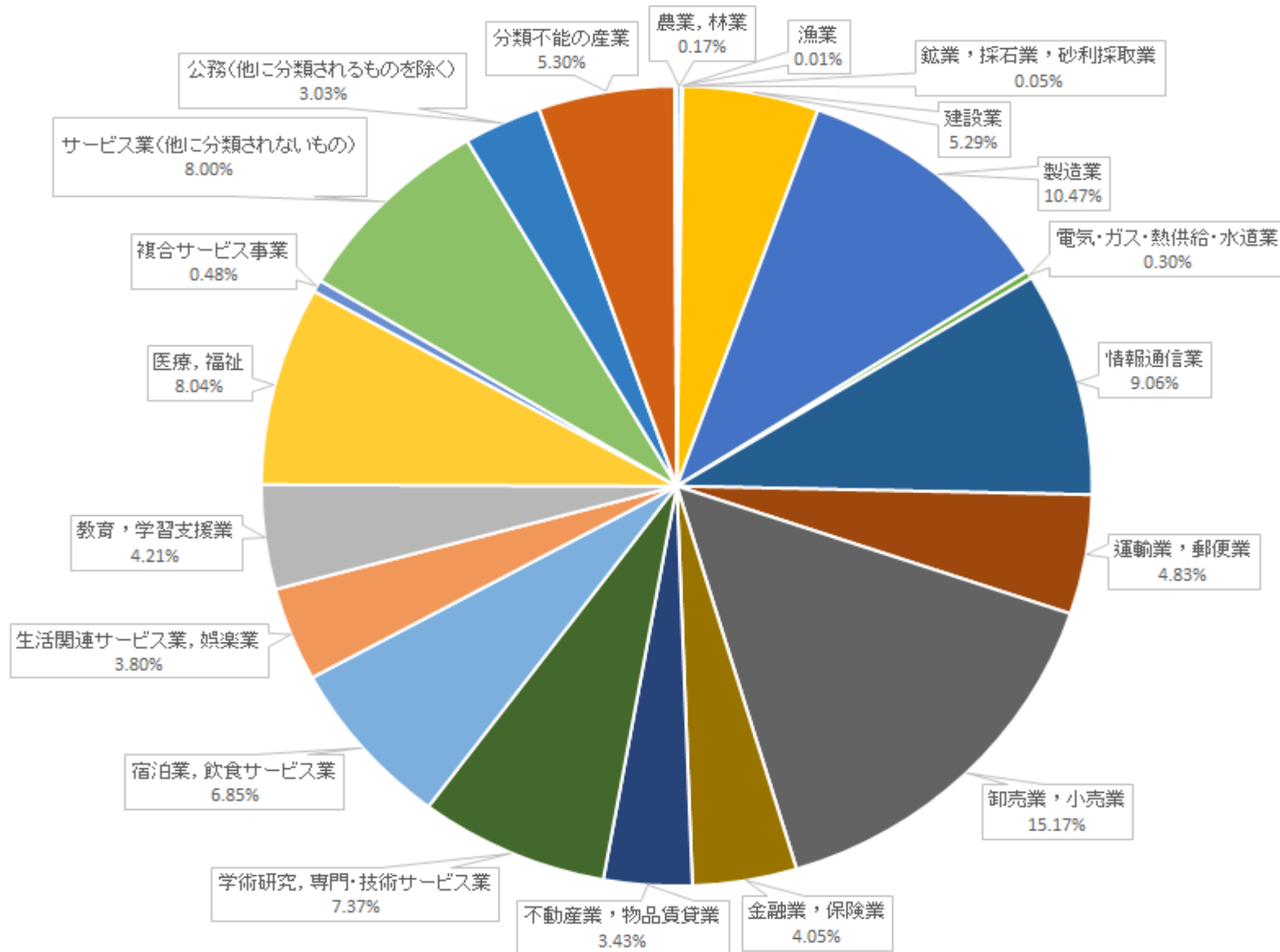
集計結果のグラフ例(26)

有業者の産業構成比(2012年全国)



集計結果のグラフ例(27)

有業者の産業構成比(2012年東京都区部)



9 . 今後の予定

- ・ 試行提供（利用者からの意見収集）
- ・ 本格提供（時期未定）

一般用ミクロデータ提供サイト

<<http://www.nstac.go.jp/services/ippan-microdata.html>>